Panasonic

DVD/ビデオ CD/CD プレーヤー

取扱説明書

品 番 **DVD-RV20**

このたびは、DVD/ビデオ CD/CD プレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

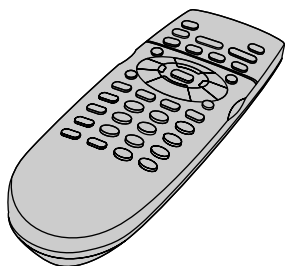
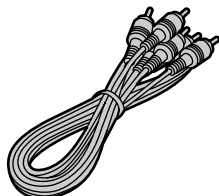
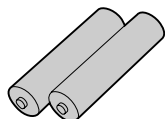
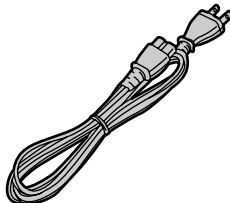
保証書別添付　**上手に使って上手に節電**

VQT8758

付属品の確認

必ず確かめてください。

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
（　　）内は買い替え時の品番です。

☐ **リモコン（1 個）**
（品番：VEQ2417**）**

☐ **音声／映像コード（1 本）**
（品番：VJA1062**）**

☐ **乾電池（2 本）**
単 3 形（R6P）

☐ **電源コード（1 本）**
（品番：VJA0536**）**

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

もくじ

準備
使いかた
ご参考

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

電源コードについて

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

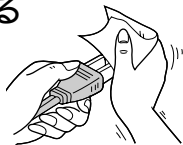
[傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。]

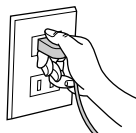
- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

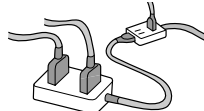
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

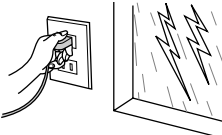
- 感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、機器やプラグに触れない

接触禁止

- 感電の恐れがあります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造をしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

以下のようなときは電源プラグを抜く

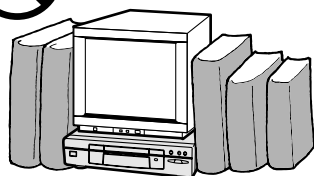
電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

放熱を妨げない

●内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

以下のことを守り正しく設置する

●不安定な場所に置かない
●上に大きなもの、重いものを載せない
●高い場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

●機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

●機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
●直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

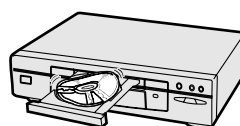
油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

●電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

ご使用について

ディスクトレイに指を入れ、挟まれないように注意する

●閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
●特にお子様にはご注意ください。

ひび割れや変形、修復したディスクは使用しない

●機器内部で割れて飛び散ると、けがの原因になります。

乾電池について

以下のことを守り正しく取り扱う

●⊕や⊖は正しく入れる。
●新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない。
●乾電池は充電しない。
●加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない。
●長期間使用しないときは、取り出しておく。
●ネックレスなどの金属物といっしょにしない。
●被覆のはがれた電池は使用しない。
●乾電池の代用として充電式電池（Ｎｉ-Ｃｄ(ニッケルカドミウム)など）は使わない。

●取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
●万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
●液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

●接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
●また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

☞4、5 ページのイラストは、イメージイラストであり、実際の商品と形状が異なる場合があります。

ご使用の前に

再生できるディスク

再生できるディスクとマーク（ロゴ）		
DVD-Video	ビデオ CD	音楽 CD ※

※ DTS CD も再生できます

さらにリージョン番号の制約があります

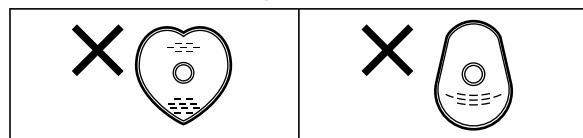
などのディスク

リージョン番号とは、発売地域ごとに DVD のソフトとプレーヤーに割り当てられた番号です。
- 本機のリージョン番号は「2」です。
- 本機は、「2」（または「2」を含むもの）と「ALL」が表示されたディスクの再生が可能です。

再生できないディスク

- CD-R、フォト CD **（絶対に再生しないでください。ディスクの内容が壊れる恐れがあります。）**
- リージョン番号「2」「ALL」以外の DVD
- PAL 方式で記録された DVD ／ビデオ CD
- DVD-ROM
- DVD-R
- DVD-RAM
- DVD-Audio
- DVD+RW
- DVD-RW
- CD-ROM
- CD-RW
- CDV
- CD-G
- CVD
- VSD
- SVCD
- SACD

など

また、ハート型など、特殊形状のディスクはご使用にならないでください。（機器の故障の原因となります。）

お知らせ

DVD、ビデオ CD のなかには、ディスク側の制約により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。ディスクのジャケットなども合わせてご参照ください。

例：
- 頭出しのためスキップボタンを押しても、“⃠”（禁止）マークが表示される。
- インタラクティブな DVD やプレイバックコントロール機能付ビデオ C D のメニュー再生中には、続き再生メモリー機能やリピート再生等が働かない。
- カラオケソフトのメニュー再生後、メニュー画面に戻らず連続再生される。（プレイバックコントロール機能付ビデオ CD）

お願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 紙やシールを貼らない。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない。
- 傷つき防止用のプロテクターなど当社指定以外の市販品は使わない。

ジャケットに表示されているマークについて

- **字幕数**

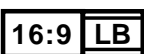
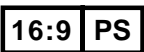
- **音声数**

- **アングル数**

（数字は記録されている字幕／音声／アングルの数を示します。）

- **画面サイズ（横：縦）**

4:3 ・4：3 の標準サイズ

LB ・レターボックス（4：3 で上下に黒帯が入っている画面）

16:9 LB ・16 ：9 のワイドサイズ 画面サイズが 4 ：3 のテレビではレターボックスで再生される。

16:9 PS ・16 ：9 のワイドサイズ 画面サイズが 4 ：3 のテレビではパン＆スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生される。

- テレビに映し出される映像は、テレビの画面モード（☞39 ページ）によっても異なります。

本書の表記について

■ 12 ～ 25 ページでは、次の記号を使用しています。

（DVD-Video を「DVD」、音楽 CD を「CD」と表記しています。）

DVD … DVD で楽しめる機能を紹介しています。

VCD …ビデオ CD で楽しめる機能を紹介しています。

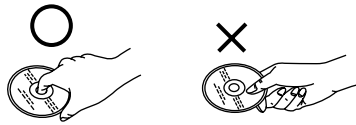
CD … CD で楽しめる機能を紹介しています。

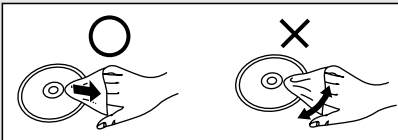
■「デコーダー」とのみ表記しているところは、以下のどちらかを表します。

- Dolby Digital デコーダー
- DTS Digital Surround デコーダー

取扱いやお手入れについて

ディスク編

●持ちかた

●汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。

●露が付いたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

●保管しておくときは

次のような場所は避けてください。
・ 直射日光の当たるところ
・ 湿気やホコリの多いところ
・ 暖房器具の熱が直接当たるところ

本機編

●使用するときは

・ 揮発性の殺虫剤などがかからないようにしてください。（キャビネットの変形や塗装がはげる恐れがあります。）
・ 本機は日本国内専用です。海外では、放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。

●移動するときは

次のことをお守りください。
・ ディスクを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外す。
・ 引っ越しなどのときは、購入時のパッキングケースに入れる。
・ 落としたり、ぶつけたりしない。

●汚れたときは

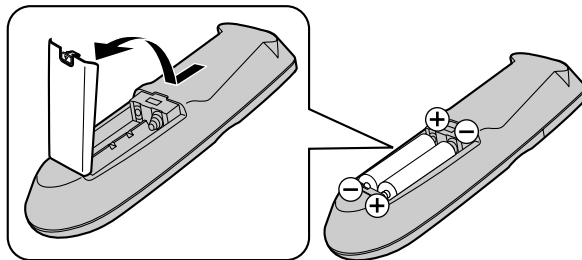
次のことをお守りください。
・ 電源を「切」にして、電源プラグをコンセントから抜く。
・ 汚れは柔らかい布で軽くふき取る。
[汚れがひどいときは、布を水でうすめた台所用洗剤（中性）にひたし、よくしぼってからふく。]

ベンジンやシンナーなどの溶剤を使わない。

お知らせ

使用環境により異なりますがレンズのクリーニングは必要ありません。
●誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

リモコンの準備

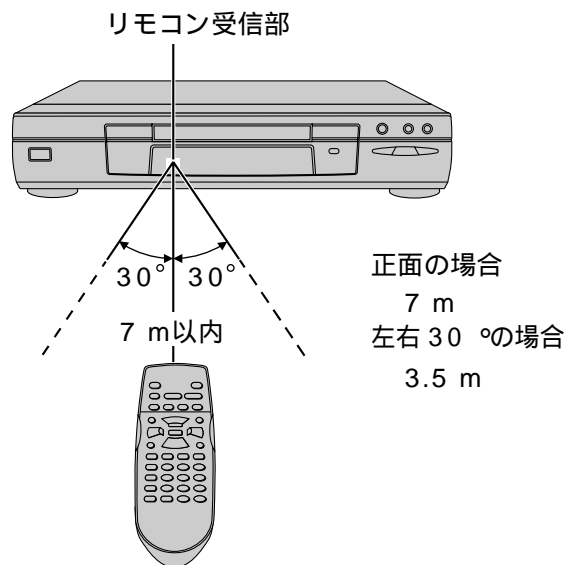
乾電池（付属）を入れる

⚠注意

- **⊕と⊖を確認し、正しく入れる。**
- **液もれが起こったときは、リモコンに付いた液をよくふき取ってから、新しい乾電池を入れる。**

お願い

- 乾電池の寿命は約 1 年です。リモコンを使用範囲内で操作しても働かないときは、乾電池を交換してください。
- 乾電池は**単 3 形**（R6P）を使ってください。

リモコンの使用範囲

※**正面の場合**
⇒ 7 m
左右 30 °の場合
⇒ 3.5 m

お願い

- 落としたり、衝撃を与えたり、足で踏んだりしない。（部品が壊れたりして、故障の原因になります。）
- リモコンは使用範囲内で使う。
- リモコン受信部に強い光を当てない。
- リモコン受信部との間に物を置かない。
- 他の機器のリモコンと同時に使わない。
- ガラス扉のついたラックなどの中に本体を入れると、ガラスの色や濃さによりリモコンの使用範囲が短くなることがあります。

テレビと接続する

■ 本機を設置するときには

- テレビの説明書もご参照ください。
- テレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 他の機器にあまり近づけないでください。
（テレビ放送の映像に乱れや雑音などが発生したときは、本機の電源を切ってください。）
- 別売品については「別売品のご紹介」（☞39 ページ）をご参照ください。

■ 接続例

映像入力端子付テレビと接続する場合

テレビ

（黄）
（白）
（赤）

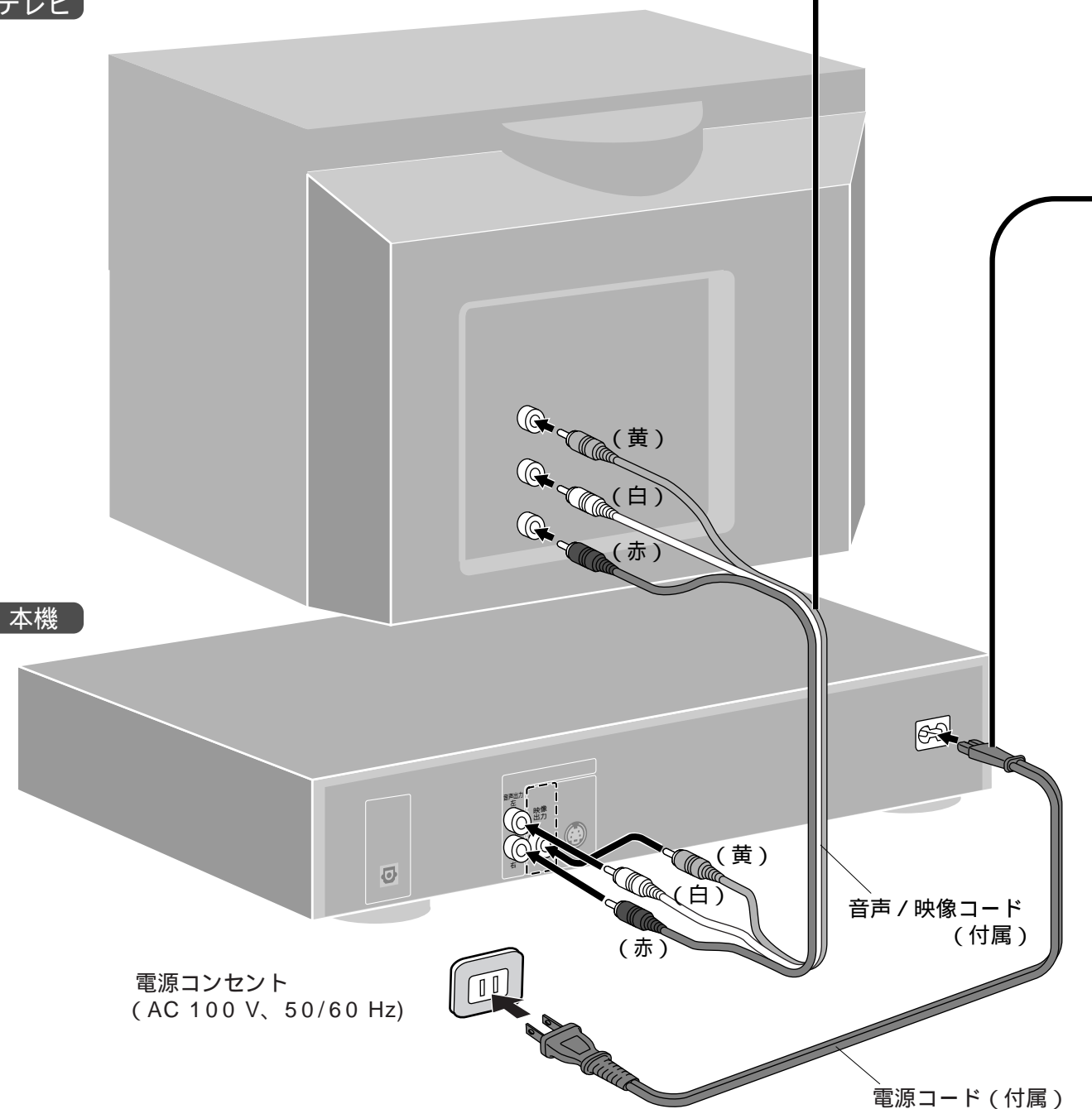
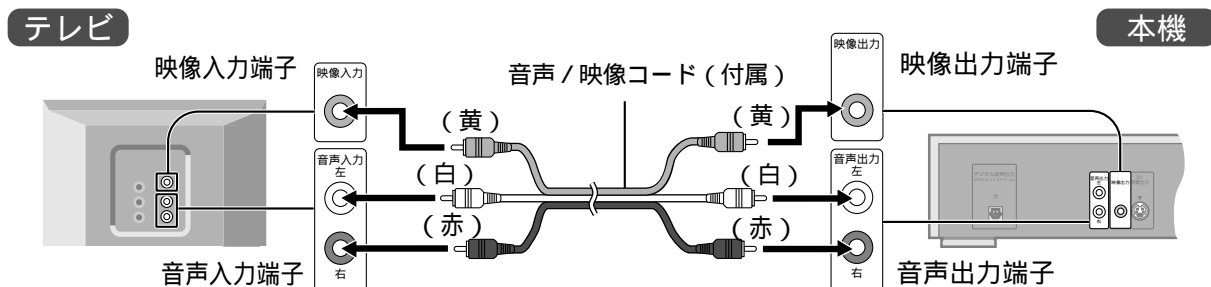
本機

音声出力 左 右
映像出力

（黄）
（白）
（赤）

音声／映像コード（付属）

電源コンセント
（AC 100 V、50/60 Hz）

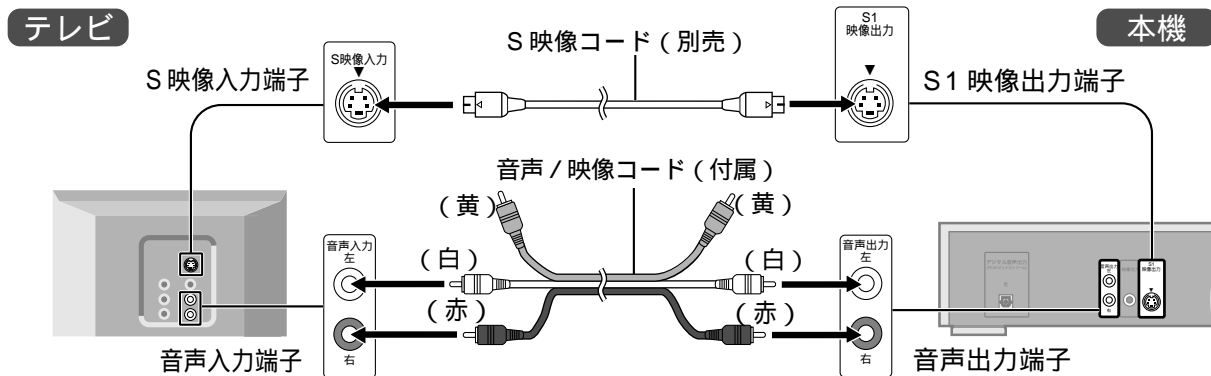
電源コード（付属）

1 音声／映像コードを接続する

2 電源コードを接続する

■ 接続が終了したら

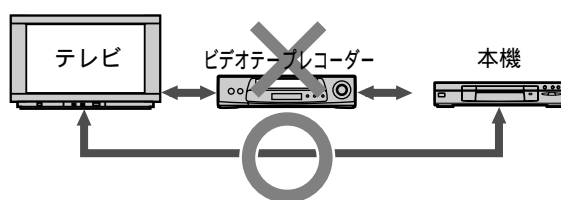
- テレビ画面の横縦比が 16 ：9 のテレビに接続された場合は、本機の初期設定を変更してください。（☞10 ページ）
- 音響機器をシステムアップするときには、32 ページをご参照ください。

S 映像入力端子に接続するには

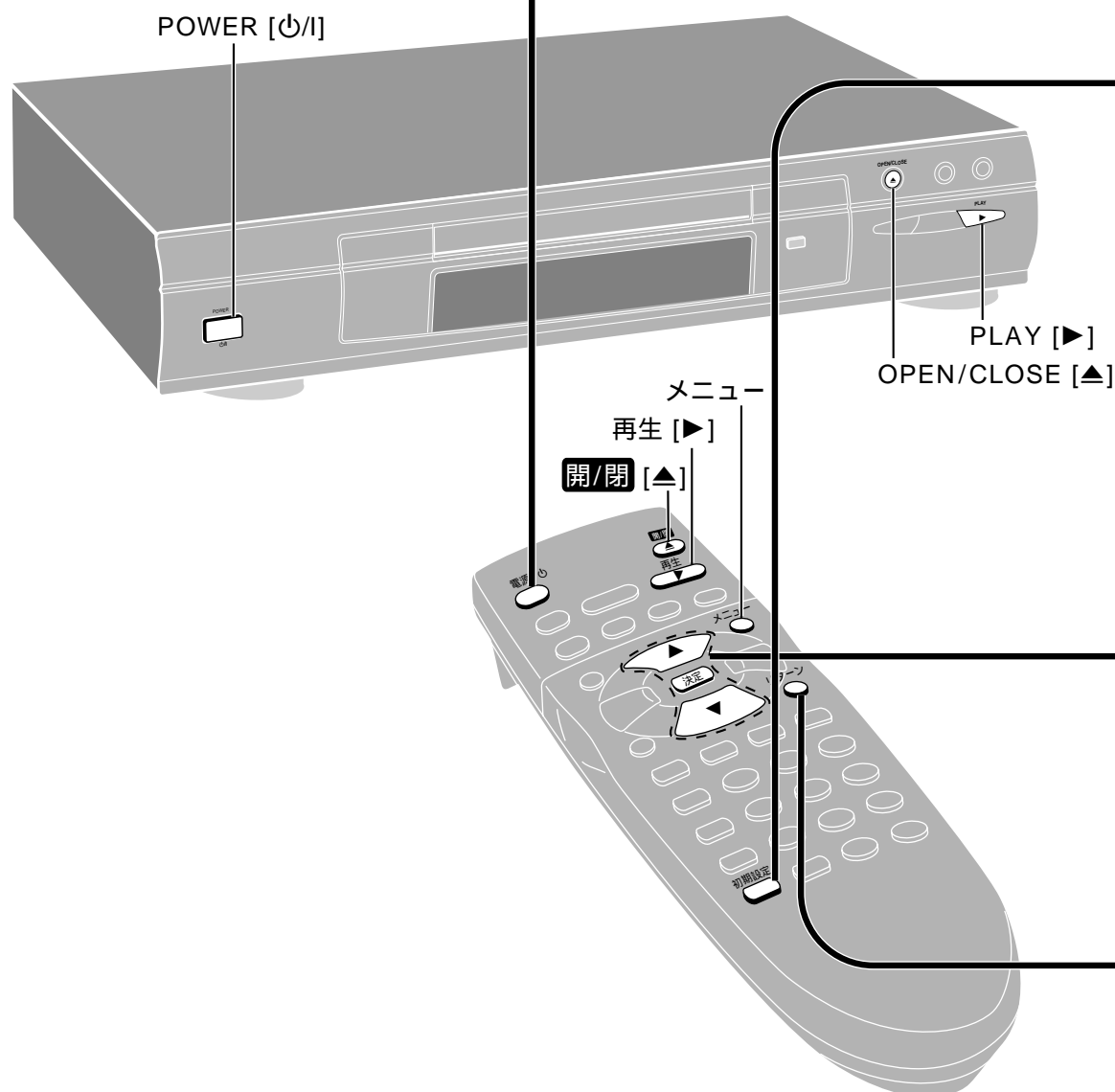
- S 映像入力端子に接続すると、映像情報を輝度（Y）信号とカラー（C）信号に分離してテレビに伝えるため、映像入力端子に接続した場合よりも鮮明な画像を得られます。
- 音声／映像コード（付属）も接続してください。その場合、映像端子（黄）を接続する必要はありません。

お知らせ

- S1 映像出力端子からは S1 映像信号（☞38 ページ）が出力されます

お願い

- 接続した端子にあわせて、テレビ側で入力を切り換えてください。
- 本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。ビデオテープレコーダーや AV セレクター経由で接続すると、コピーガードの影響により、再生時に画面が乱れることがあります。
- 複数の入力端子が装備されたビデオ内蔵型テレビに接続するときには、テレビ側の入力端子に接続してください。

テレビに合わせて設定する

準　備

- テレビの電源を「入」にし、テレビの入力を「ビデオ」などに切り換えてください。
- テレビ画面の横縦比が 4：3 のテレビに接続された場合は、設定する必要はありません。

■**長期間使用しないときは**

- 節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。[⏻] などで電源を切った状態（スタンバイ状態）でも、約 1.5 W の電力を消費しています。

1 電源［⏻］を押し、電源を入れる

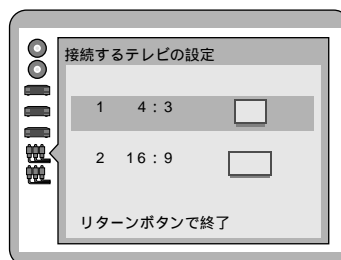
お知らせ

- 本体、リモコンの［▲］、［▶］を押すと、［⏻］を押したときと同様に、電源が「入」になります。
- 停止したまま約30分放置すると、本機は自動的に「スタンバイ」状態になります。**（オートパワーオフ）**

2 停止中、リモコンの［初期設定］を押し、初期設定画面を表示する

3 リモコンのカーソルボタン［▲、▼］を押して、「6　接続するTV」を選び、［決定］を押す

4 リモコンのカーソルボタン［▲、▼］を押して、テレビ画面の横縦比を選び、［決定］を押す

- **4：3（出荷時の設定）**
  標準サイズのテレビ
- **16：9**
  ワイドサイズのテレビ

- 設定が終了すると、初期設定画面に戻ります。

5 初期設定画面が消えるまで、［リターン］を数回押す

■ ひとつ前の画面に戻るには

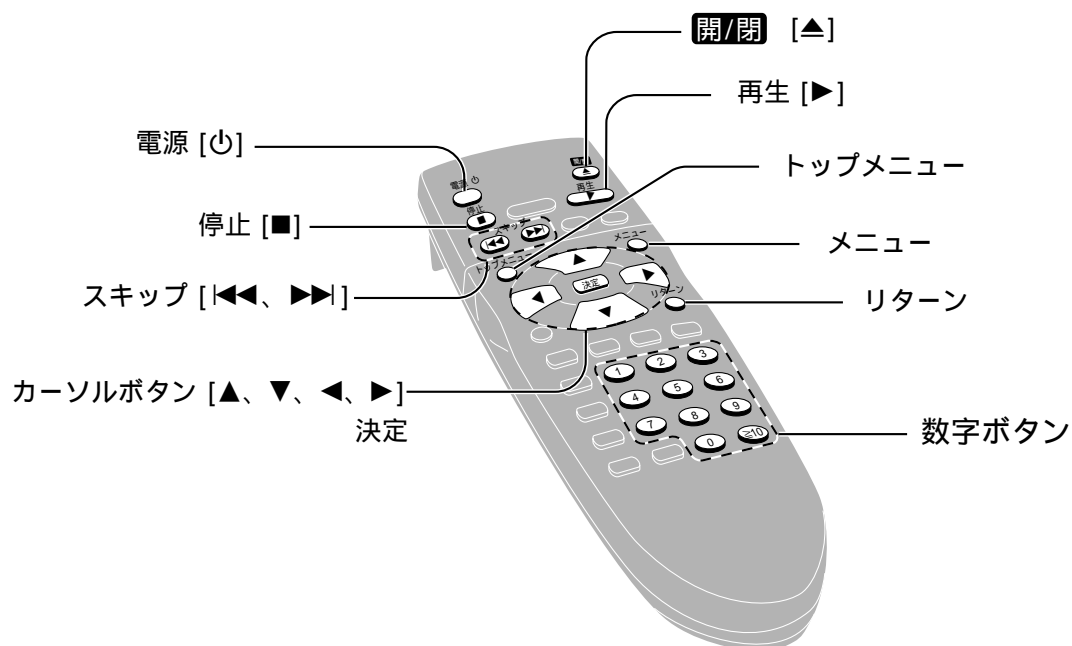
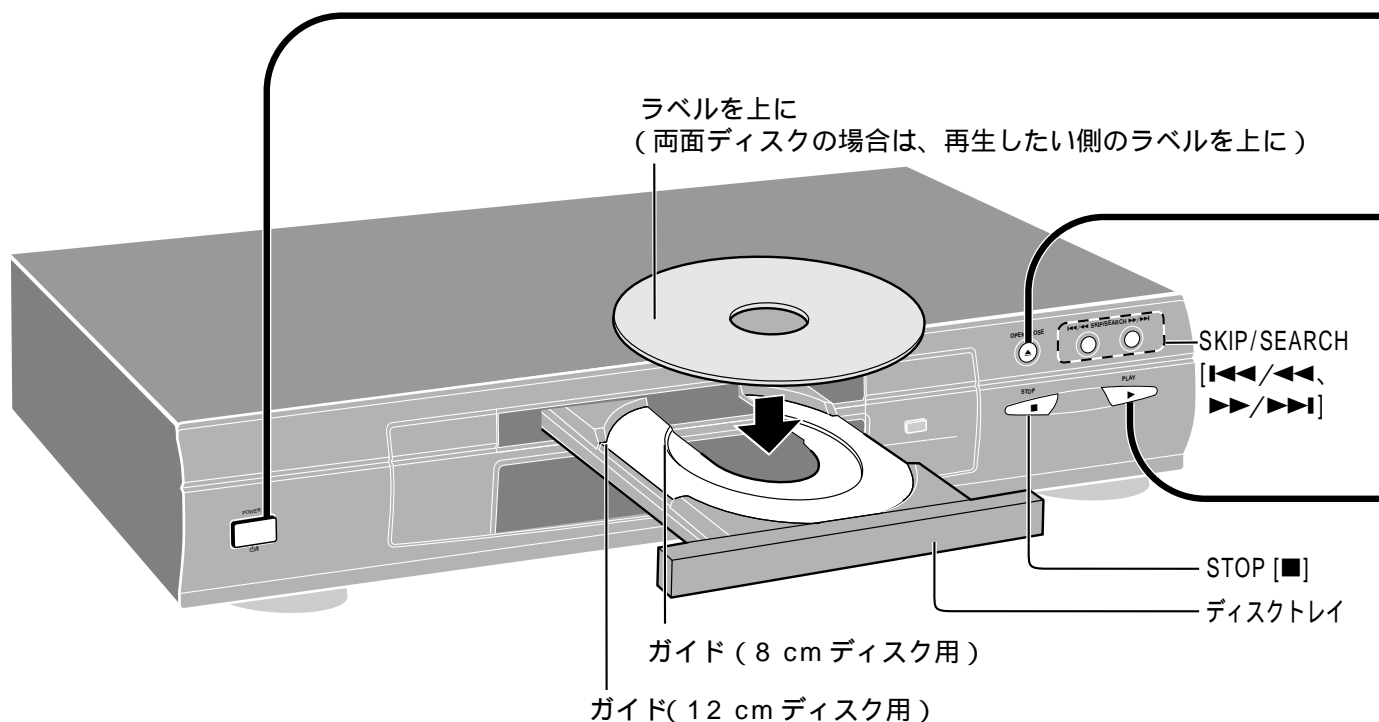
［リターン］を押す

お知らせ

- テレビ画面に映し出される映像の横縦比については、39ページをご参照ください

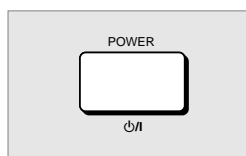
お願い

- S1映像出力端子に接続し、映し出される映像がパン＆スキャン（左右の切れた画面）で表示される場合、「9 エキスパート設定」の「3　TVモード（4：3)」（☞29ページ）で設定を「2　レターボックス」に変更してください。

再生してみよう

お願い

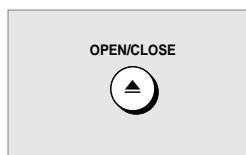
- メニュー画面の表示中は、画面が静止していてもディスクは回っています。本機のモーターの保護と、テレビ画面への画像の焼き付き等を防止するため、続けて再生しないときは停止してください。
- DVD 再生時は、テレビ放送に比べて音量が小さく感じられます。**再生したときにテレビの音量を上げた場合は、**テレビ放送に切り換える前に**必ず元の音量に戻してください。**突然大きな音が出ることがあります。

DVD　VCD　CD

1

押して
電源を入れる

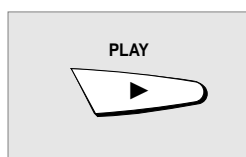
■リモコンでもできます

押す　電源⏻

2

押して
トレイを開き
ディスクをセットする

- ガイドに合わせてセットしてください。
- 2 枚以上のディスクをセットしないでください。

■リモコンでもできます

押す
3

押して
再生を始める

（ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。）

■リモコンでもできます

押す　再生

お知らせ

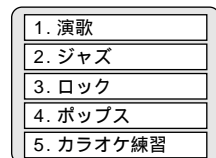
- すでにディスクがセットされているときに、再生[▶]を押すと自動的に電源が入り、再生が始まります。
- テレビ画面に“⃠”が表示されたときは、ディスクまたは本機で禁止されているため、その操作はできません。
- 再生[▶]を押した後、映像や音声が出るまでに時間がかかることがありますが、本機の故障ではありません。

メニュー画面が表示されたら

- メニュー画面付 DVD やプレイバックコントロール機能付ビデオ CD ではメニュー画面が表示されます。

メニュー画面の例）

1. 演歌
2. ジャズ
3. ロック
4. ポップス
5. カラオケ練習

以下の手順のように、設定してください

1 リモコンの**カーソルボタン**[▲、▼、◀、▶]で変更する

2 リモコンの[**決定**]を押す

または、リモコンの**数字ボタン**で変更する

- ビデオ CD のときは、カーソルボタンで項目を選ぶことができません。

お知らせ

- メニューの内容はディスクによって異なります。ここでは、一般的な操作の例を示しています。

■2 ケタの番号を入力するには

例）25

押す ▶ 押す ▶ 押す

（リモコン）

■メニュー画面を消すときは

リモコンの**[リターン]を押す**

■メニューに続きがあるときは

押す
⏮/⏪ SKIP/SEARCH ⏩/⏭
（本体）

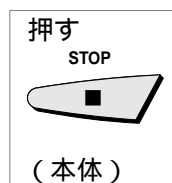
または

押す
スキップ
（リモコン）

■再生を止めるには

押す
（本体）

または

押す
停止
（リモコン）

■再生中メニュー画面を出すには

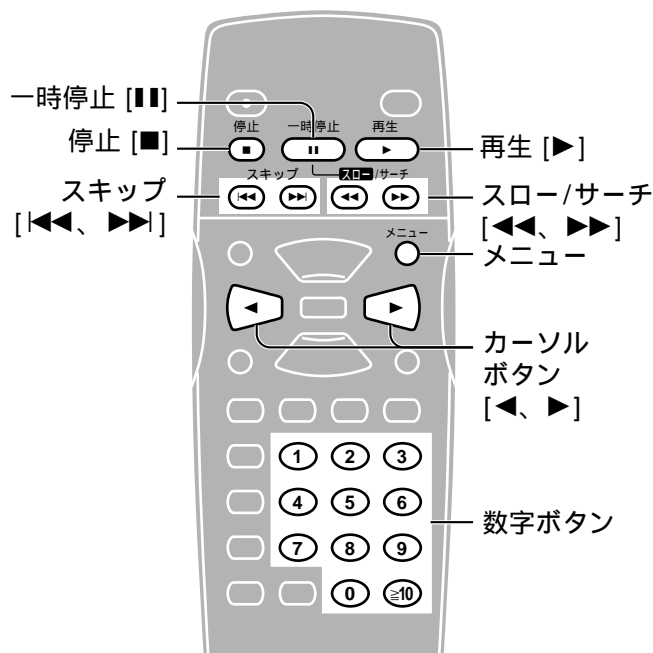
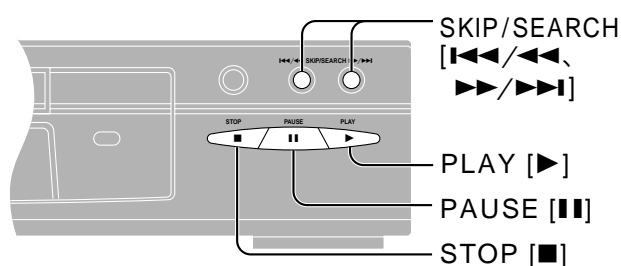
リモコンの**[トップメニュー]** DVD

または

リモコンの**[メニュー]** DVD

または

リモコンの**[リターン]を押す**

再生してみよう

一時停止（静止）

再生中、**一時停止[❚❚]**を押す

■再生を始めるには

再生[▶]を押す

コマ送り／コマ戻し DVD VCD

一時停止中、リモコンの**カーソルボタン[◀、▶]を押す**

■通常の再生に戻すには

再生[▶]を押す

お知らせ

- カーソルボタンを押し続けると、連続コマ送り／コマ戻し再生になります。
- 一時停止［❚❚］を押してもコマ送りできます。
- コマ戻しは DVD のみ働きます。
- 「9 エキスパート設定」の「1 スチルモード」（☞29 ページ）で画質を調整することができます。

場面や曲を飛びこす（スキップ）

再生/一時停止中

リモコンのスキップ**[⏮、⏭]を押す**

または

本体の SKIP/SEARCH**[⏮/◀◀、▶▶/⏭]**
をポンと押す

（スキップしたところから再生が始まります。）

お知らせ

- スキップ［⏮］または SKIP/SEARCH［⏮／◀◀］を 1 回押すと、再生中のチャプター／トラックの頭に戻ります。もう 1 回押すと、前のチャプター／トラックの頭に戻ります。

早送り／早戻し

再生中

リモコンのスロー/サーチ**[◀◀、▶▶]を押す**

または

本体の SKIP/SEARCH**[⏮/◀◀、▶▶/⏭]**
を押し続ける

■通常の再生に戻すには

再生[▶]を押す

スロー再生 DVD VCD

一時停止中

リモコンのスロー/サーチ**[◀◀、▶▶]を押す**

または

本体の SKIP/SEARCH**[⏮/◀◀、▶▶/⏭]**
を押し続ける

■通常の再生に戻すには

再生[▶]を押す

お知らせ

- 早送り／早戻し、スロー再生の速度は 5 段階あります。リモコンの場合はボタンを押すたびに、本体の場合はボタンを押しつづけるごとに早くなります。
- ボタンから指を離しても速度は維持されます。
- 早送り 1 段階目は、音声が聞こえます。DVD VCD
［「2　早送りの時の音声」（☞29 ページ）で音声を消すことができます。］
- 戻し方向のスロー再生は DVD のみ働きます。

止めた位置から再生する

1 再生中、**停止[■]**を押す

[止めた位置が記憶されます。(続き再生メモリー機能)]

点滅 表示窓

c25 1:23:45

2 表示窓に “ ▷ ” が点滅中、**再生[▶]**を押す

■止めた位置までのあらすじを見るには

下記の画面が表示されている間に、**再生[▶]**を押す

再生ボタンを押すと、
あらすじリプレイになります

タイトルの先頭から止めた位置までの各チャプターの冒頭が再生された後、止めた位置から再生が始まります。(あらすじリプレイ機能) DVD

■続き再生メモリー機能を解除するには

表示窓に “ ▷ ” が点滅中、**停止[■]を押す**

お知らせ

- 続き再生メモリー機能は、電源を切ったときでも働いています。
  (コンセントから電源プラグを引き抜いたときは、続き再生メモリー機能が解除されます。)
- 続き再生メモリー機能／あらすじリプレイ機能は、インタラクティブな DVD やプレイバックコントロール機能付ビデオ CD のメニュー再生中には働きません。
- ディスクを取り出しても、続き再生メモリー機能が解除されます。

インタラクティブな DVD DVD

例えば、複数のアングルやストーリーなどが記録されている DVD のことです。
再生中に経過時間が表示されません。

ビデオ CD のメニュー画面を使わずに再生する VCD

プレイバックコントロール機能付ビデオ CD のメニューを使わず、直接トラックを指定し、再生できます。

1 メニュー再生中、**停止[■]**を押す

(プレイバックコントロール機能が解除されます。)

2 リモコンの**数字ボタン**を押して
トラックを選ぶ

(選んだトラックから再生が始まります。)

■ 再生中メニュー画面に戻るには

1 **停止[■]**を押す

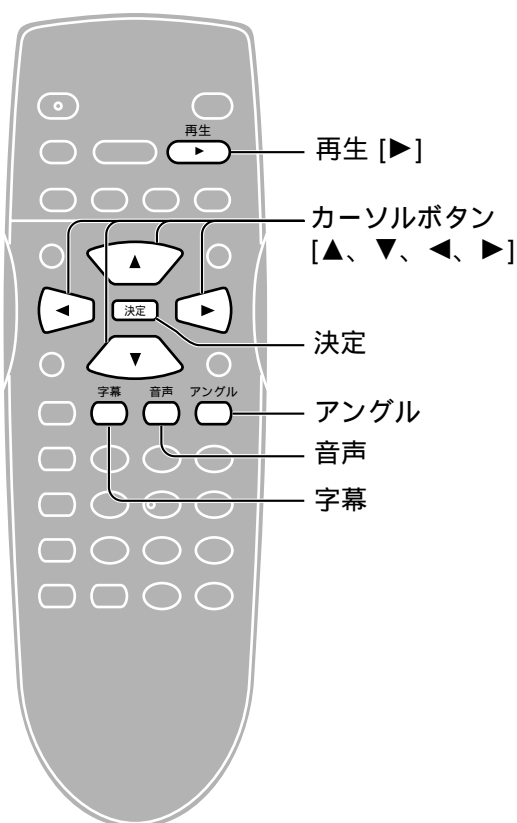
2 **[メニュー]**を押す

お知らせ

- メニュー再生中に、リモコンの［◀◀、▶▶］または本体の［|◀◀／◀◀、▶▶／▶▶|］を押すとメニュー画面に戻ることがあります。

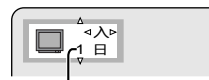
プレイバックコントロール機能 VCD

プレイバックコントロール機能のついたビデオ CD を再生したときは、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい場面や情報を対話形式で選ぶことができます。
本書では、メニュー画面を使って再生することを、ビデオ CD の「メニュー再生」と呼びます。

便利な機能

お知らせ

- 字幕／音声／アングルの切り換えは、それらが複数記録されている DVD で働きます。
- 字幕／音声言語は、続き再生メモリー機能（☞15 ページ）が解除されると、初期設定「1 ディスク言語」（☞26 ページ）で設定されている言語に戻ります。
  インタラクティブな DVD の場合は、再生を止めると、初期設定で設定されている言語に戻ります。
- ディスクに記録されているメニュー画面（☞19 ページ）でのみ字幕／音声／アングルを切り換えられるディスクもあります。
- 数字ボタンで字幕／音声／アングルの切り換えができる DVD もあります。

字幕言語を切り換える DVD

1 再生中、リモコンの**[字幕]**を押して
画面表示を出す

再生中の字幕番号
（字幕が記録されていないときは " -- " と表示します。）

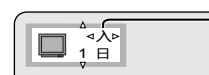
2 リモコンの**[字幕]**
または
リモコンの**カーソルボタン[▲、▼]**を押し
希望する字幕を選ぶ
（押すごとに切り換わります。）

- 変更後は字幕が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

■画面表示を消すには

リモコンの**[決定]**を押す

字幕を「切」「入」する DVD

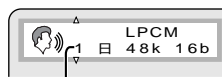
1 再生中、リモコンの**[字幕]**を押して
画面表示を出す

字幕 " 切 "" 入 "

2 リモコンの**カーソルボタン[◀、▶]**を押して
「切」「入」を選ぶ

■画面表示を消すには

リモコンの**[決定]**を押す

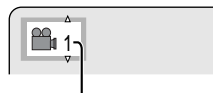
音声言語を切り換える DVD

1 再生中、リモコンの**[音声]**を押し
画面表示を出す

再生中の音声番号
（音声が記録されていないときは "-" と表示される。）

2 リモコンの**[音声]**
または
リモコンの**カーソルボタン[▲、▼]**を押し
希望する音声を選ぶ
（押すごとに切り換わります。）

■画面表示を消すには
リモコンの**[決定]**を押す

アングルを切り換える DVD

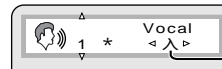
1 再生中、リモコンの**[アングル]**を押して
画面表示を出す

再生中のアングル番号

2 リモコンの**[アングル]**
または
リモコンの**カーソルボタン[▲、▼]**を押し
希望するアングルを選ぶ
（押すごとに切り換わります。）
- 複数のアングルが記録されている場面では、表示窓に "ANGLE" が点灯します。

■画面表示を消すには
リモコンの**[決定]**を押す

カラオケソフトのボーカルを切り換える DVD VCD

DVD

1 再生中、リモコンの**[音声]**を押して
画面表示を出す

2 リモコンの**カーソルボタン[◄、►]**を押して
希望するボーカルを選ぶ

●ソロ
--- （切）
↕
入

●デュエット
--- （切）
↕
1＋2（入）
↕
V1（入）
↕
V2（入）

- "---" を選ぶとカラオケができます。
- "V1" または "V2" を選ぶと、ひとりでもデュエットができます。

■画面表示を消すには
リモコンの**[決定]**を押す

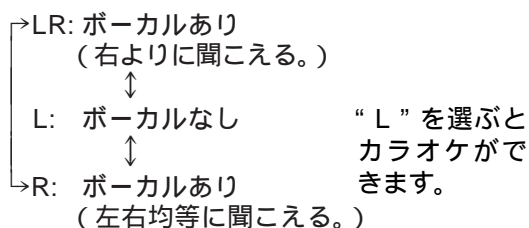
VCD

1 再生中、リモコンの**[音声]**を押して
画面表示を出す

LR

2 リモコンの**[音声]**
または
リモコンの**カーソルボタン[▲、▼]**を押し
希望するボーカルを選ぶ

LR: ボーカルあり
（右よりに聞こえる。）
↕
L: ボーカルなし
↕
R: ボーカルあり
（左右均等に聞こえる。）

- "L" を選ぶとカラオケができます。

■画面表示を消すには
リモコンの**[決定]**を押す

お知らせ
- カラオケソフトのほとんどは、選んだ曲が終わるたびにメニュー画面に戻るように制作されています。
メニュー画面に「全曲再生」という項目がある場合は、その項目を選び、決定すると、全曲が再生されます。
- 本機には直接マイクを接続できません。
カラオケを楽しむときは、マイク入力端子付のAVアンプなどに接続してください。（☞32～33ページ）

便利な機能

バーチャルサラウンドサウンドを楽しむ DVD

フロントスピーカー（L ／ R）だけでサラウンド感を楽しむことができます。

再生中、**[V.S.S.]**を押す

（ボタンを押すたびに効果のレベルが切り換わります。）

■効果のレベル

＜ V.S.S. 1 ＞

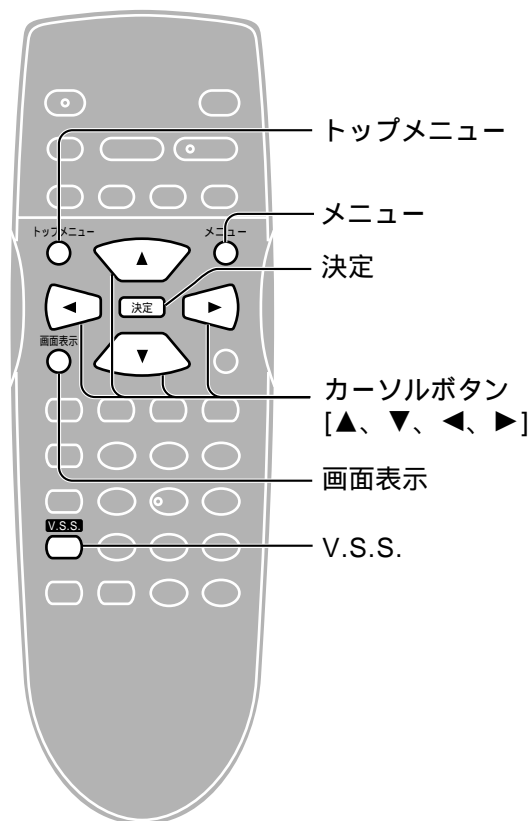
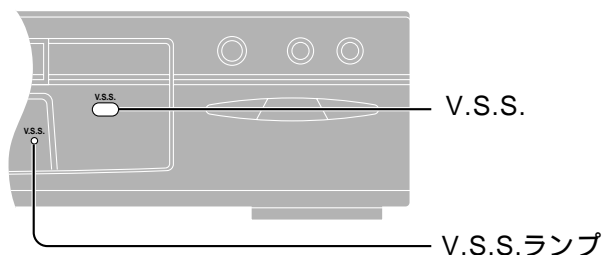
- **ステレオディスク**
  音が左右に広がって聞こえる。
- **サラウンド信号があるディスク**
  ステレオディスクでの効果に加え、サラウンド信号の音がスピーカーの存在しない横方向から出ているように聞こえる。

＜ V.S.S. 2 ＞

レベル 1 よりも、さらに音の広がり感が増す。

GUI 画面を使って V.S.S.の効果のレベルを切り換えることもできます。(☞25 ページ「V.S.S.」)

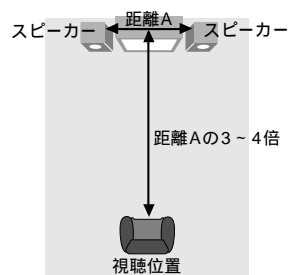
お知らせ

- V.S.S.は、右図の視聴位置でお楽しみいただくのが最も効果的です。
- V.S.S.は、ドルビーデジタル 2ch 以上で記録された DVD で働きます。ただし、ディスクによっては効果が出にくいものや、効果が出ないものがあります。
- V.S.S.は、カラオケの DVD には働きません。

こんなこともできます

■再び見たい（聞きたい）ところを記憶する

(☞25 ページ「マーカー」)

記憶させたところから再生を始めることができます。

- インタラクティブな DVD やプレイバックコントロール機能付ビデオ CD のメニュー再生中には働きません。

メニューを使って再生する DVD

再生中メニュー画面を呼び出してお好みのタイトル／チャプターにスキップしたり、音声／字幕などを切り換えたりできます。

1 再生中、
リモコンの**[トップメニュー]**
または
リモコンの**[メニュー]**
を押す

例）チャプター選択画面

チャプター 1～10
チャプター11～20
チャプター21～30
チャプター31～40
チャプター41～50

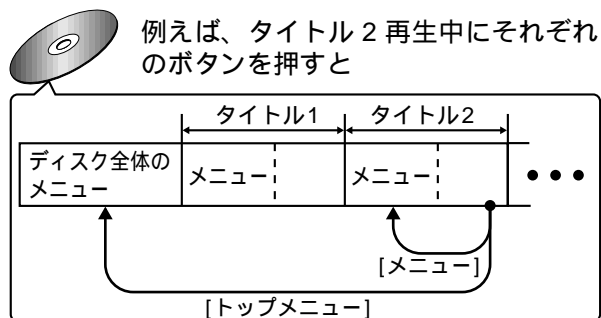
- もう一度押すと、ボタンを押す前に再生していた場面に戻ります。

2 リモコンの**カーソルボタン[▲、▼、◀、▶]**を押し、
[決定]を押す

（次々とメニューが表示されるときは、手順を繰り返してください。）

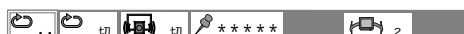
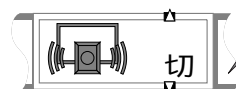
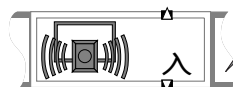
お知らせ

- メニューの内容は、ディスクによって異なります。
- **[トップメニュー]**を押したときと**[メニュー]**を押したときで、表示されるメニューが異なるDVDもあります。

例えば、タイトル2再生中にそれぞれのボタンを押すと

セリフの音量をあげる（シネマボイスモード） DVD

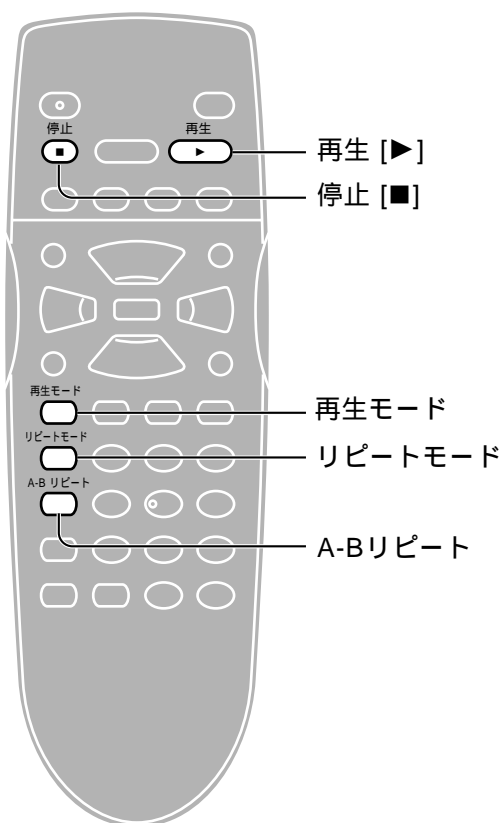
映画など、迫力ある効果音が記録されたソフトでのセリフ部を聞き取りやすくします。
（ドルビーデジタル3ch以上で記録され、センターチャンネルにセリフが入っているDVDで働きます。）

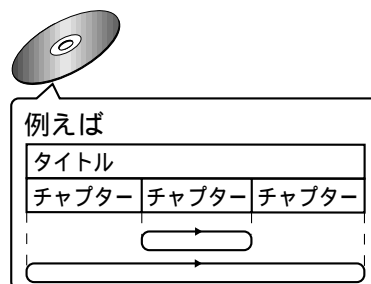
1 再生中、リモコンの**[画面表示]を2回押す**

[GUI画面（☞25ページ「本機の情報画面」）が表示されます]

2 リモコンの**カーソルボタン[◀、▶]**を押して
「シネマボイスモード」の絵表示を選ぶ

3 リモコンの**カーソルボタン[▲、▼]**を押して
「入」を選ぶ

■元の音量に戻すには

手順3で**[切]**を選ぶ

■画面表示を消すには

リモコンの**[リターン]**を押す

繰り返し再生する（リピート再生）

お好みのチャプターやトラック（☞38ページ「用語解説」）などを繰り返し再生できます。

再生中、リモコンの**[リピートモード]**を押す

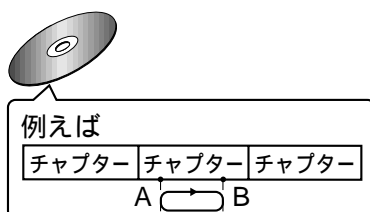
例）DVD のとき

ボタンを押すたびにリピート再生の種類が切り換わります。
表示が切り換わった時点で種類が決定され、リピート再生が始まります。

お知らせ

- リピート再生ができない DVD もあります。
- インタラクティブな DVD やプレイバックコントロール機能付ビデオ CD のメニュー再生中には働きません。
- DVD の場合、ディスク全体の繰り返し再生は選べません。

好みの場所を繰り返し再生する（A-B リピート再生）

同一タイトル/トラック内で繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

1 再生中、リモコンの**[A-B リピート]を押す**
（開始場所 A を指定します。）

A・

2 リモコンの**[A-B リピート]を押す**
（終了場所 B を指定します。）

AB

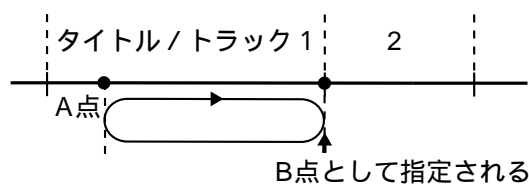
AB 間の繰り返し再生が始まります。

■通常の再生に戻すには
リモコンの**[A-B リピート]**を押す

・・

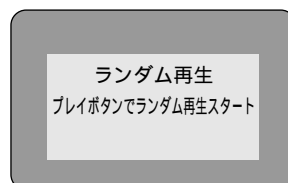
A-B リピートが解除されます。

お知らせ

- インタラクティブな DVD には働きません。
- A 点と B 点の前後では、字幕が表示されないことがあります。
- B 点を指定する前にタイトル／トラックの再生が終了したときは、タイトル／トラックの終了点が自動的に B 点として指定されます。

順不同に再生する（ランダム再生） VCD CD

プレーヤーにおまかせの順番で再生されます。

1 停止中、リモコンの**[再生モード]を数回押す**
（下記の画面が出るまで押してください。）

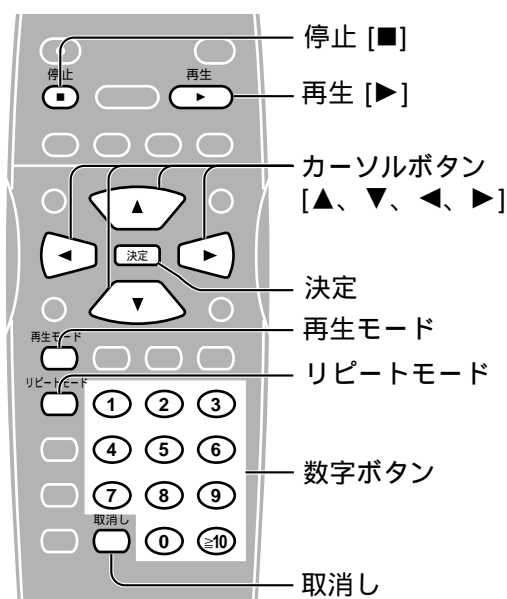
ランダム再生
プレイボタンでランダム再生スタート

2 **再生[▶]を押す**
（ランダム再生が始まります。）
（再生が終了すると、停止してランダム再生画面に戻ります。）

■ランダム再生画面を消すには
リモコンの**[再生モード]**を押す

■通常の再生に戻すには
1 ランダム再生中、**停止[■]**を 2 回押す
2 リモコンの**[再生モード]**を押す
3 **再生[▶]**を押す

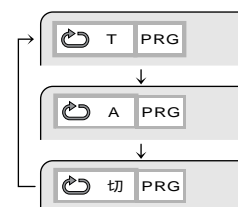
お願い

- テレビ画面に " ⃠ " が表示されたときは**停止[■]**を押してから、**[再生モード]** を数回押してください。

便利な機能

こんなこともできます

■予約したトラックを繰り返し再生する（プログラムリピート再生）

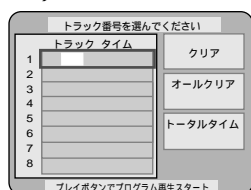
プログラム再生中、リモコンの **[リピートモード]**を押す

ボタンを押すたびにリピート再生の種類が切り換わります。

- 再生中のトラックを繰り返す
- プログラム全体を繰り返す
- プログラム再生に戻る

好みの順に再生する（プログラム再生） VCD CD

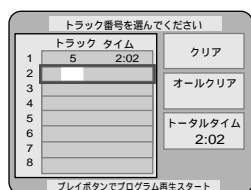
好みのトラックだけを、好みの順番で再生できます。

1 停止中、プログラム選択画面（☞下記）が出るまでリモコンの**[再生モード]を数回押す**

例）

表示窓 点滅

- 表示窓だけ見ながら予約をすることもできます。

2 リモコンの**数字ボタン**を押してトラック番号を選ぶ

（手順2を繰り返すと最大32曲予約できます。33曲以上予約すると32曲目に上書きして予約されます。）

3 **再生[▶]を押す**

（再生が終了すると、停止してプログラム選択画面に戻ります。）

■プログラムの予約を1曲ずつ取り消すには

カーソルボタン[◀、▶]を押して表示画面の**[クリア]**を選択し、**[決定]**を押す

（**[取消し]**を押しても、予約を取消すことができます）

■プログラムの予約をすべて取り消すには

カーソルボタン[▲、▼、◀、▶]を押して表示画面の**[オールクリア]**を選択し、**[決定]**を押す

■プログラム選択画面を消すには

リモコンの**[再生モード]**を2回押す

■通常の再生に戻すには

1 プログラム再生中、**停止[■]**を2回押す

2 リモコンの**[再生モード]**を2回押す

3 **再生[▶]**を押す

（予約番号は保持されます。）

■プログラム再生中に追加予約したいときは

[■]を2回押す

プログラム選択画面が表示されます。

リモコンの**カーソルボタン[▲、▼]**を押してトラックを入れたい順番を選び、手順2、3を行ってください。

お知らせ

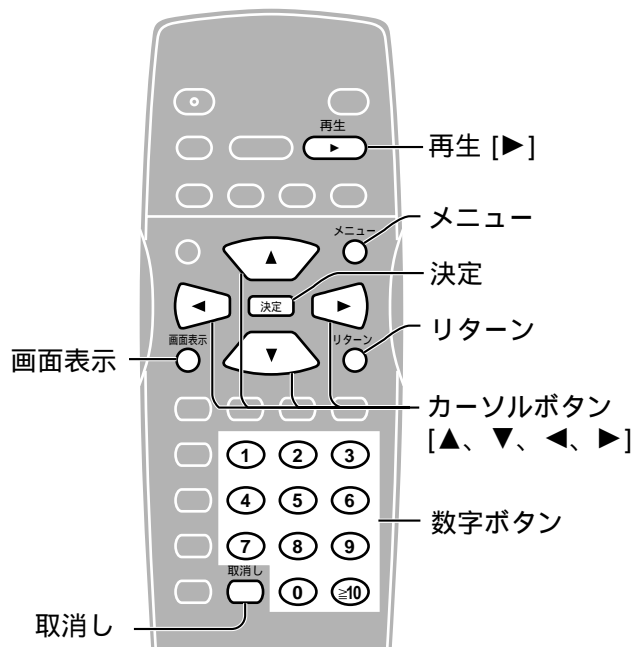
- 電源を切るか、ディスクトレイを開くまで、予約は保持されます。
- 予約中に、リモコンの**カーソルボタン[▲、▼]**を押すと、表示窓で予約の確認ができます。
  さらに**[決定]**を押すと、予約の変更ができます。
- 8曲以上予約した場合、リモコンの**スロー／サーチ[◀◀、▶▶]**を押すと、前後の予約画面を確認できます。
- テレビ画面に“⦸”が表示されたときは**停止[■]**を押してから、**[再生モード]**を数回押してください。

絵表示（GUI画面）を見ながら操作する DVD VCD CD

GUI（Graphical User Interface）とは

ジー・ユー・アイ グラフィカル・ユーザー・インターフェース

「画面を見ながら絵表示を使って操作ができる」機能です。本機では、ディスクや本機の情報などを表示する細長い画面を「GUI画面」と呼びます。情報を確認しながら内容を変更できます。

操作方法

1 再生中または停止中、
リモコンの**[画面表示]を押す**
（押すたびにGUI画面が切り換わります。）

2 リモコンの**カーソルボタン[◀、▶]**を押して
絵表示（情報画面）を選ぶ
（選んだ絵表示の枠が黄色で示されます。）

3 リモコンの**カーソルボタン[▲、▼、◀、▶]**を押して
絵表示（情報画面）の設定を変更し、
[決定]を押す

- **数字ボタン**で変更できるものもあります。この場合、数字ボタンを押した後に**[決定]**を押してください。
- 本機の情報画面で「A-B リピート再生」「マーカー」を選んだときはそれぞれの操作に従ってください。
- 枠内の“△、▽、◁、▷”はカーソルボタン[▲、▼、◀、▶]で変更できることを示します。

お知らせ

- 停止中には操作できないものもあります。
- リモコンの［**決定**］または**再生**［**▶**］を押すまで変更が実行されないものもあります。
- ソフトやテレビの機能によっては、GUI画面が欠けたり表示されなかったりすることがあります。この場合、GUI画面の位置や色を変えてください。
（☞28ページ「オンスクリーン」）

■GUI画面を消すには

リモコンの**[リターン]**
または
リモコンの**[取消し]**
を押す

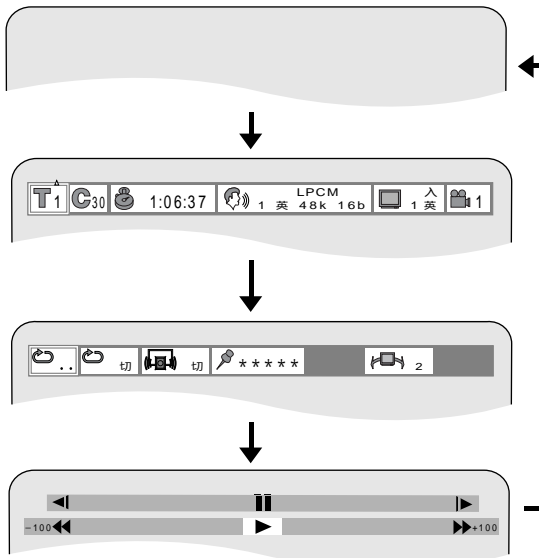
GUI画面の内容

- 表示内容は、ディスクによって異なります。

GUI画面例）DVDのとき

<ディスクの情報画面>（☞24ページ）
タイトル／チャプター／トラックを選んだり、字幕／音声／アングルを切り換えたりできます。

<本機の情報画面>（☞25ページ）
好みの場所にマークをしたり、V.S.S.の効果を変えたり、セリフを聞き取りやすくしたりできます。

<シャトル画面>（☞24ページ）
早送り／早戻しや、スロー再生ができます。

絵表示（GUI 画面）を見ながら操作する

ディスクの情報画面

例）DVD

T1 C30 1:06:37 1 英 LPCM 48k 16b 1 入 英 1

例）VCD

T1 3:37 L R PBC 切

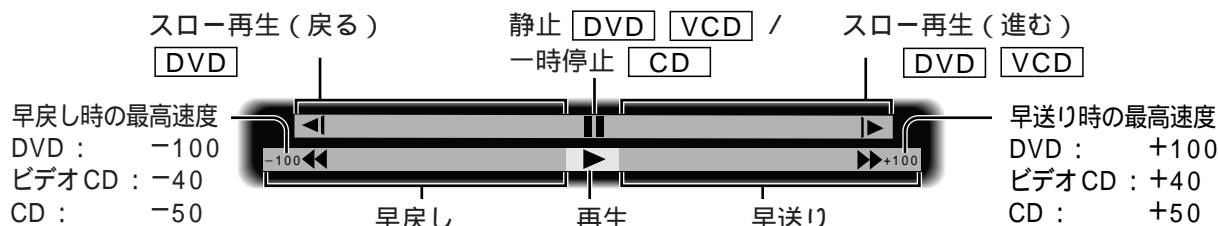
T1	**タイトル番号** DVD　**トラック番号** VCD CD 番号を選び、**[決定]**を押すと、そのトラック／タイトルの再生を開始する
C30	**チャプター番号** DVD 番号を選び、**[決定]**を押すと、そのチャプターの再生を開始する
1:06:37	**経過時間** DVD 数字ボタンで再生を始める時間を指定すると、そこから再生を開始する 例）1 時間 6 分 37 秒から再生するとき **[1]→[0]→[6]→[3]→[7]→[決定]**を押す
3:37	**時間表示** VCD CD　：内容変更はできません。 再生中、カーソルボタン[▲、▼]を押すたびに表示を変更する トラックの経過時間⟷トラックの残り時間⟷ディスクの残り時間※1
1 英 LPCM 48k 16b (a) (b)	**音声番号** DVD 番号を選ぶとその音声で再生する ⓐ ：番号に割りあてられた音声言語（☞ 下記参照「字幕／音声言語」） ⓑ ：番号に割りあてられた音声属性（☞ 下記参照「音声属性」）
L R	**音声チャンネル** VCD チャンネルを選ぶとその音声で再生する “LR”（左右チャンネルの音声）⟷“L”（左チャンネルの音声）⟷“R”（右チャンネルの音声）
入 1 英 (a)	**字幕番号／字幕「切」「入」** DVD 番号を選ぶと、その言語で再生／字幕の「入」「切」の選択をする ⓐ ：番号に割りあてられた字幕言語（☞ 下記参照「字幕／音声言語」）
1	**アングル番号** DVD 番号を選ぶとそのアングルで再生する
PBC 切	**メニュー再生の「入」「切」表示**（プレイバックコントロール機能付 VCD ） ：内容変更はできません。

ⓐ 字幕／音声言語

日：日本語	**蘭**：オランダ語
英：英語	**中**：中国語
仏：フランス語	**露**：ロシア語
独：ドイツ語	**韓**：韓国語
伊：イタリア語	**＊**：その他
西：スペイン語	

ⓑ 音声属性［ディスク内の音声属性が表示される。（変更はできません。）］

LPCM　96k／48k、16b／20b／24b：リニア PCM
[**k** はサンプリング周波数（kHz）を、**b** はビット数（bit）を表す。)]
DD Digital 1ch～3／2.1ch※2**：** ドルビーデジタル
DTS 1ch～3／2.1ch※2**：** DTS Digital Surround
Vocal ---／入： カラオケ（ソロ）
Vocal ---／V1＋V2／V1／V2： カラオケ（デュエット）

シャトル画面

●早送り／早戻し、スロー再生の速度は 5 段階あり、ボタンを押すたびに早くなります。
●ディスクによって操作できないものもあります。

DVD VCD CD

本機の情報画面

例）DVD　　例）VCD

↻..	**ABリピート再生** 指定した2点間を繰り返し再生する **[決定]**を押すたびに ↻A.（A点を指定）→ ↻AB（B点を指定）（ABリピート再生が始まる）→ ↻..（通常の再生に戻る） ●同一タイトル／トラック内でのみ可能です。 ●B点を指定する前にタイトル／トラックが終わったときは、その終了点がB点として指定されます。
↻ 切	**リピート再生**※3 再生の種類を選ぶと繰り返し再生を開始する DVD “切”（通常再生）←→“C”（チャプター）←→“T”（タイトル） VCD　CD “切”（通常再生）←→“T”（トラック）←→“A”（ディスク全体）
切	**シネマボイスモード「入」「切」** DVD ●「入」を選ぶとセリフの音量が上がります。 ●センターチャンネル（セリフ）を聞き取りやすくする効果があります。（ドルビーデジタル3ch以上）
---	**再生モード表示**　VCD　CD ：内容変更はできません。 **RND：**ランダム再生 **PRG：**プログラム再生　　**---：**通常の再生
*****	**マーカー**※3 もう一度再生したいところにマークをつける（最大5か所） **[決定]**を押し、マークしたいところでもう一度押す ●電源を切るか、ディスクトレイを開けるまでマーク番号は保持されます。 ■マークを呼び出す カーソルボタン[◀、▶]でマークを選び **[決定]**を押す ■マークを取り消す カーソルボタン[◀、▶]でマークを選び **[取消し]**を押す
2	**V.S.S.** DVD 効果のレベルを選ぶ（ドルビーデジタル2ch以上） “1”（V.S.S.標準）←→“2”（V.S.S.強） “OFF”（V.S.S.解除）

※1 プログラム再生中やランダム再生中には表示されません。
※2 ディスクにより異なる表示が出ることがあります。
※3 インタラクティブなDVDやプレイバックコントロール機能付ビデオCDには働きません。

設定を変える

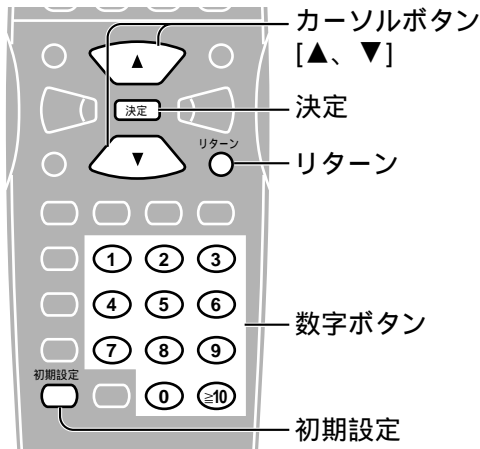
共通手順

お好みや使用状況に応じて様々な設定を変更することができます。(電源を切っても変更するまで保持されます。)

1 停止中、リモコンの**[初期設定]**を押す

2 リモコンの**カーソルボタン[▲、▼]**を押して
項目/内容を選び
リモコンの**[決定]**を押す
(必要なだけ繰り返してください。)

お知らせ

- 数字ボタンを押しても項目/内容を変更できます。

■ 初期設定で変更できる内容

1 ディスク言語(☞下記)
音声/字幕/メニューの言語を変える
2 視聴制限(☞27ページ)
視聴制限を設定する/変更する
3 画面メニュー言語(☞28ページ)
画面に表示されるさまざまな言語を変える
4 オンスクリーン(画面表示の設定:☞28ページ)
画面表示の有無、色/位置を変える
5 FLディマー(表示窓の明るさ設定:☞28ページ)
表示窓の明るさを変える
6 接続するTV(☞10ページ)
接続したテレビに合わせて設定する
7 デジタル出力(☞34ページ)
接続したデジタル音響機器に合わせて設定する
9 エキスパート設定(特殊な設定:☞29ページ)
スチルモードなどの特殊な設定を変える

■ ひとつ前の画面に戻るには

[リターン]を押す

■ 初期設定を終了するときは

初期設定画面が消えるまで**[リターン]**を数回押す

1 ディスク言語

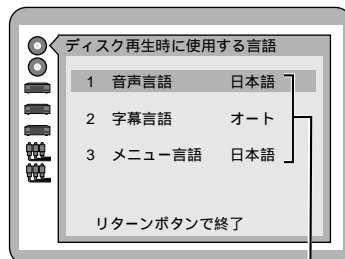
再生時に使う各種言語が設定できます。(設定した言語が、ディスクに記録されていない場合や、ディスク側であらかじめ優先言語が決められている場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。)

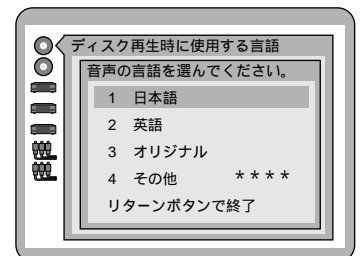
1 停止中、
リモコンの**[初期設定]**を押す

2 **カーソルボタン[▲、▼]**を押して
「1　ディスク言語」を選ぶ

3 **カーソルボタン[▲、▼]**を押して
「音声言語」/「字幕言語」/「メニュー言語」を選ぶ

4 **カーソルボタン[▲、▼]**を押して
言語を選び、**[決定]**を押す

[決定]を押す ➡

出荷時の設定

[決定]を押す ➡

お知らせ

- 「1 音声言語」の「オリジナル」はディスクの最優先言語を表します。
- 「2 字幕言語」で「オート」に設定すると、「1 音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかった場合に、その言語で字幕を表示します。それ以外の場合は表示しません。
- 「その他」にはリモコンの**数字ボタン**でお好みの言語の言語番号(☞30ページ)を入力してください。

2 視聴制限

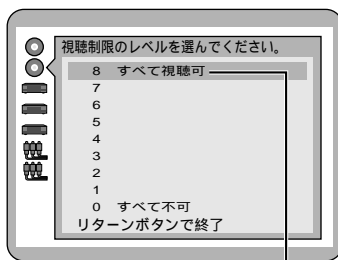
お子さまなどに見せたくない成人向けDVDの再生が制限できます。
ただし、成人向けDVDでもディスクに視聴制限のレベルが設定されていない場合、視聴の制限はできません。
暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。

1 停止中、
リモコンの**[初期設定]**を押す

2 **カーソルボタン**[▲、▼]を押して
「2　視聴制限」を選ぶ

3 **カーソルボタン**[▲、▼]を押して
視聴制限のレベルを選ぶ

4 **数字ボタン**を押して
4桁の暗証番号を入力し、
[決定]を押す

[決定]
を押す

[決定]
を押す

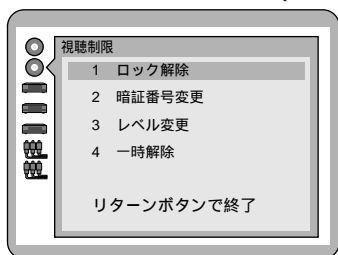
出荷時の設定

レベル8　：すべてのディスクが再生可
レベル1〜7：制限レベルが記録されているディスクの再生を禁止
レベル0　：すべてのディスクの再生を禁止

- レベル7以下を選んだときは**数字ボタン**で暗証番号（4ケタ）を入力してください。（ロックがかかります。）
- 制限レベルを持たないソフトも制限したいときは「0（すべて不可）」を選んでください。

お願い

- ロックすると正しい暗証番号を入力しない限り、設定内容を変更できません。**暗証番号は忘れないでください。**
- 操作によって異なる画面が出ることがありますが、そのときは画面の指示に従ってください。

■ 制限内容を変更するには（レベル0〜7のとき）

手順4の画面で、**数字ボタン**を使って暗証番号（4ケタ）を入力し、**[決定]**を押すと、以下の項目を選ぶことができます。

1 ロック解除　：制限を解除してレベル8に戻す
2 暗証番号変更　：暗証番号を変更する
3 レベル変更　：制限レベルを変更する
4 一時解除　：一時的に制限を解除する

選んだ後、リモコンの**[決定]**を押し、画面の指示に従ってください。

- 「4　一時解除」を選ぶと、電源を切るかディスクトレイを開けるまでレベル8の状態が続きます。

設定を変える

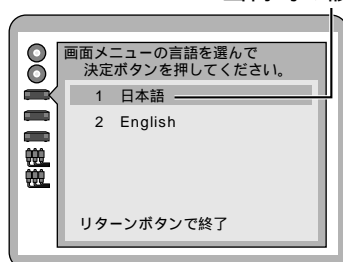
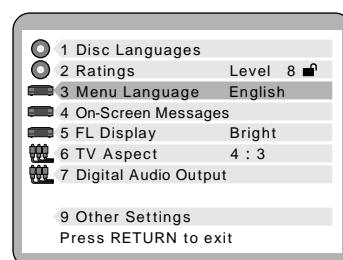
3 画面メニュー言語

「再生」などの画面表示や初期設定画面の言語を選べます。

1 停止中、リモコンの**[初期設定]**を押す

2 カーソルボタン[▲、▼]を押して「3 画面メニュー言語」を選ぶ

[決定]を押す

3 カーソルボタン[▲、▼]を押して「日本語」／「English」を選び、**[決定]**を押す

例）Englishを選んだ場合

4 オンスクリーン（画面表示の設定）

「再生」／「停止」などの画面表示の有無を選べます。（「画面メッセージ」）
また、これらの画面表示やGUI画面の色／位置が選べます。（「色と位置」）

1 停止中、**[初期設定]**を押す

2 カーソルボタン[▲、▼]を押して「4 オンスクリーン」を選ぶ

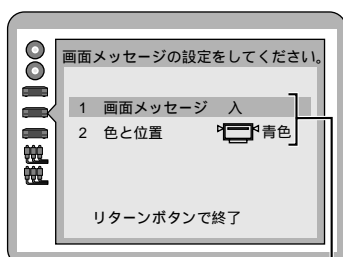
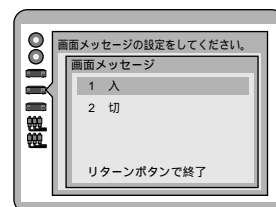
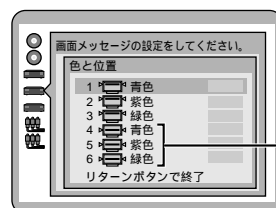
1 ディスク言語
2 視聴制限 レベル 8
3 画面メニュー言語 日本語
4 オンスクリーン
5 FLディマー 明
6 接続するTV 4：3
7 デジタル出力
9 エキスパート設定
リターンボタンで終了

[決定]を押す

3 カーソルボタン[▲、▼]を押して「画面メッセージ」／「色と位置」を選ぶ

[決定]を押す

4 カーソルボタン[▲、▼]を押して「画面メッセージ」/「色と位置」の設定を変更し、**[決定]**を押す

<画面メッセージ>

<色と位置>

[決定]を押す

画面表示やGUI画面の上端が欠けているときに選ぶ。

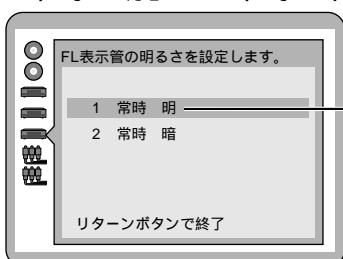
5 FLディマー（表示窓の明るさ設定）

表示窓の明るさを少し暗くできます。

1 停止中、**[初期設定]**を押す

2 カーソルボタン[▲、▼]を押して「5 FLディマー」を選ぶ

[決定]を押す

3 カーソルボタン[▲、▼]を押して「常時 明」／「常時 暗」を選び、**[決定]**を押す

9 エキスパート設定（特殊な設定）

種々の特殊な設定ができます。

1 停止中、**[初期設定]**を押す

2 カーソルボタン[▲、▼]を押して「9　エキスパート設定」を選ぶ

1 ディスク言語
2 視聴制限　レベル　8
3 画面メニュー言語　日本語
4 オンスクリーン
5 FLディマー　明
6 接続するTV　4：3
7 デジタル出力
9 エキスパート設定
リターンボタンで終了

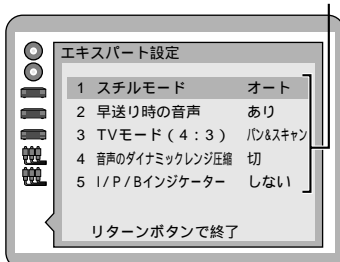
[決定]を押す

3 カーソルボタン[▲、▼]を押して設定したい項目を選ぶ

出荷時の設定

エキスパート設定
1 スチルモード　オート
2 早送り時の音声　あり
3 TVモード（4：3）　パン&スキャン
4 音声のダイナミックレンジ圧縮　切
5 I/P/Bインジケーター　しない
リターンボタンで終了

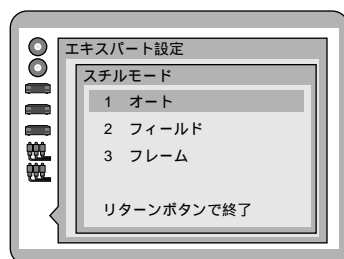
[決定]を押す

4 カーソルボタン[▲、▼]を押して項目を変更し、**[決定]**を押す

1 スチルモード（☞下記）
静止時のモードを選ぶ

2 早送り時の音声（☞下記）
早送り1段階目に音声を出すかどうかを選ぶ

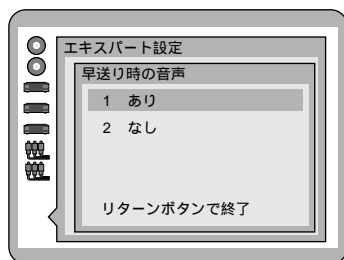
3 TVモード（4：3）（☞下記）
標準サイズ（4：3）のテレビでワイドソフトを再生するときの画面を選ぶ

4 音声のダイナミックレンジ圧縮（☞30ページ）
小さい音と大きい音の音量差を縮める（ドルビーデジタルで記録されたDVDのみに働きます。）

5 I/P/Bインジケーター（☞30ページ）
静止時にDVD画像の種類を画面に表示するかどうかを選ぶ

■ スチルモード（☞38ページ「フレーム／フィールド」）

1 オート：フレームで静止するかフィールドで静止するかを自動的に切り換える

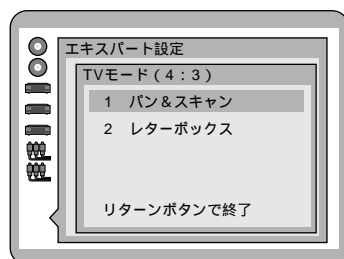
2 フィールド：静止時に常にフィールドが表示される（「オート」設定時に、画像のブレが発生するときに選ぶ。）

3 フレーム：静止時に常にフレームが表示される（「オート」設定時に、小さい文字や細かい絵柄がはっきり見えないときに選ぶ。）

■ 早送り時の音声

1 あり

2 なし（「あり」に設定してDVDやビデオCDを再生したとき、早送り時の音が気になるときに選ぶ。）

お知らせ

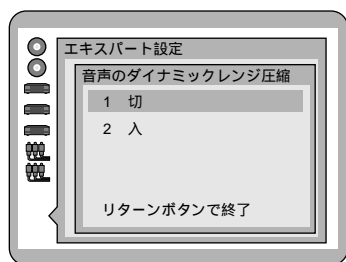
- CDの場合は、設定に関係なく早送り／早戻し時にすべての速度で音が出ます。
- DVDとビデオCDの場合は、早戻し時にすべての速度で音が出ません。

■ TVモード（4：3）

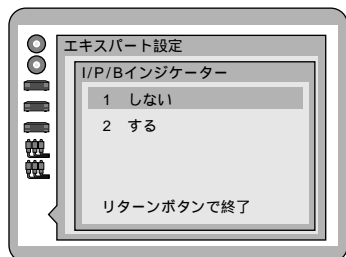
1 パン&スキャン：横縦比が16：9などのワイドソフトを再生したときに両側または片側の切れた画面で再生される

2 レターボックス：横縦比が16：9などのワイドソフトを再生したときに上下に黒帯の入った画面で再生される

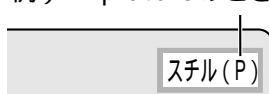
お知らせ

- ディスク側であらかじめパン＆スキャンやレターボックスの指定がされているときは、ディスク側の設定が優先されます。

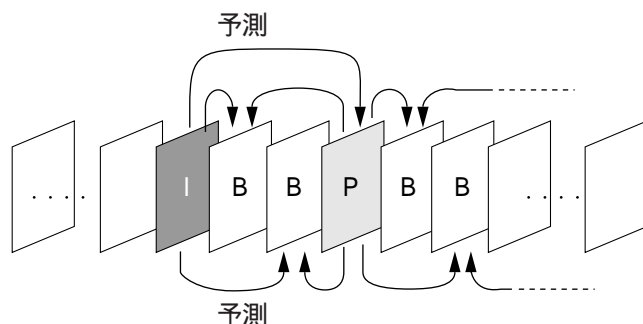
設定を変える

■ **音声のダイナミックレンジ圧縮**

1 切
2 入（機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と音割れしない最大音との音量差を縮める。）

■ **I/P/Bインジケーター**

1 しない
2 する（静止時にDVD画像の種類を画面に表示する。）

例） P-pictureのとき

I／P／B

DVDでは、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは各画面ごとに記録しています。
I-picture：共用データの基準として単独で記録されるフレーム
P-picture：過去のI-pictureを元につくられるフレーム
B-picture：I／P両方を元につくられ、両者の間をうめるフレーム
I-pictureの画質がもっとも良く、画質調整をするときは、I-pictureで静止することをお薦めします。

一般的なピクチャータイプの構成

言語番号一覧表（☞26ページ「1 ディスク言語」で使います）

7383：アイスランド
6588：アイマラ
7165：アイルランド
6590：アゼルバイジャン
6583：アッサム
6565：アファル
6570：アフリカーンス
6566：アプハジア
6577：アムハラ
6582：アラビア
8381：アルバニア
7289：アルメニア
7384：イタリア
7473：イディッシュ
7365：インターリングア
7378：インドネシア
6789：ウェールズ
8779：ウォロフ
8679：ヴォラピュック
8575：ウクライナ
8590；ウズベク
8582：ウルドゥー
6978：英語
6984：エストニア
6979：エスペラント
7982：オーリヤ
7876：オランダ
7575：カザフ
7583：カシミール
6765：カタロニア
7176：ガリチア
7579：韓国（朝鮮）語
7578：カンナダ
7577：カンボジア
7589：キルギス
6976：ギリシャ
7585：クルド
7282：クロアチア
7178：グアラニー
7185：グジャラト
7576：グリーンランド
7565：グルジア
8185：ケチュア
7168：（スコットランド）ゲール
8872：コーサ
6779：コルシカ
8377：サモア
8365：サンスクリット
8378：ショナ
8368：シンド
8373：シンハラ
7487：ジャワ
8386：スウェーデン
8375：スロバキア
8376：スロベニア
8387：スワヒリ
8385：スンダ
6983：スペイン
9085：ズールー
8382：セルビア
8372：セルボクロアチア
8379：ソマリ
8472：タイ
8484：タタール
8465：タミル
8476：タガログ
8471：タジク
6783：チェコ
9072：中国語
6679：チベット
8473：ティグリニア
8469：テルグ
6865：デンマーク
8487：トウイ
8475：トルクメン
8482：トルコ
8479：トンガ
6869：ドイツ
7865：ナウル
7465：日本語
7869：ネパール
7879：ノルウェー
7265：ハウサ
7285：ハンガリー
6985：バスク
6665：バシキール
8083：パシュト
8065：パンジャブ
7273：ヒンディー
6672：ビハール
7789：ビルマ
7073：フィンランド
7074：フィジー
7079：フェロー
7082：フランス
7089：フリジア
6890：ブータン
6671：ブルガリア
6682：ブルターニュ
7387：ヘブライ
8673：ベトナム
6669：ベロルシア（白ロシア）
6678：ベンガル（バングラ）
7065：ペルシャ
8076：ポーランド
8084：ポルトガル
7773：マオリ
7775：マケドニア
7783：マライ（マレー）
7782：マラッタ
7776：マラヤーラム
7784：マルタ
7771：マダガスカル
7779：モルダビア
7778：モンゴル
8979：ヨルバ
7679：ラオ
7665：ラテン
7686：ラトビア（レット）
7684：リトアニア
7678：リンガラ
8279：ルーマニア
8277：レトロマンス
8285：ロシア

初期設定一覧表

再生操作の前にあらかじめ設定しておける内容（初期設定）を一覧表にしています。
詳しくは、各ページをご参照ください。（下線部：出荷時の設定）

メニュー項目	設定内容		参照ページ
1 ディスク言語	音声言語	●日本語 ●英語 ●オリジナル ●その他	26
	字幕言語	●オート ●日本語 ●英語 ●その他	
	メニュー言語	●日本語 ●英語 ●その他	
2 視聴制限	8 すべて視聴可		27
	0 すべて不可～7	●ロック解除 ●暗証番号変更 ●レベル変更 ●一時解除	
3 画面メニュー言語	日本語		28
	English		
4 オンスクリーン	画面メッセージ	●入 ●切	28
	色と位置	●青色 ●紫色 ●緑色 ●青色（少し下） ●紫色（少し下） ●緑色（少し下）	
5 FLディマー	常時　明		28
	常時　暗		
6 接続するTV	4：3		10
	16：9		
7 デジタル出力	PCM ダウンサンプリング変換	●しない ●する	34
	Dolby Digital	●Bitstream ●PCM	
	DTS Digital Surround	●Off ●Bitstream	
9 エキスパート設定	スチルモード	●オート ●フィールド ●フレーム	29
	早送り時の音声	●あり ●なし	
	TVモード（4：3）	●パン&スキャン ●レターボックス	
	音声のダイナミックレンジ圧縮	●切 ●入	
	I／P／B インジケーター	●しない ●する	

ホームシアター

高音質を楽しむ（音響機器のシステムアップ）

以下の表を参考に、必要な接続や設定を行ってください。（接続機器は一例です。）

こんなときは	接続機器	必要な設定	詳しくは
2chのアナログ音響機器で楽しむ[※1]	●アナログ音響機器（2ch音声入力端子付） ●フロントスピーカー（L/R）	必要な設定はありません	A（☞ 下記）
5.1ch サラウンドサウンドを楽しむ	●AVアンプ（デコーダー内蔵）[※2] ●フロントスピーカー（L/R） ●センタースピーカー ●サラウンドスピーカー（L/R） ●サブウーハー	7 デジタル出力 ●Dolby Digital ／DTS Digital Surround ⇒接続する機器に応じて設定	B（☞33ページ）
2chのデジタル音響機器で楽しむ[※1]	●デジタル音響機器（デコーダーなし） ●フロントスピーカー（L/R）	7 デジタル出力 ●Dolby Digital⇒「PCM」 ●DTS Digital Surround⇒「Off」	C（☞33ページ）

※1 ドルビープロロジックデコーダーに接続する場合は、Aまたは Cの接続に加えて、センタースピーカー、サラウンドスピーカーが別途必要となります。（詳しくは、それぞれの機器の説明書をご参照ください。）
※2 単体デコーダーとAVアンプを組み合わせて使うこともできます。

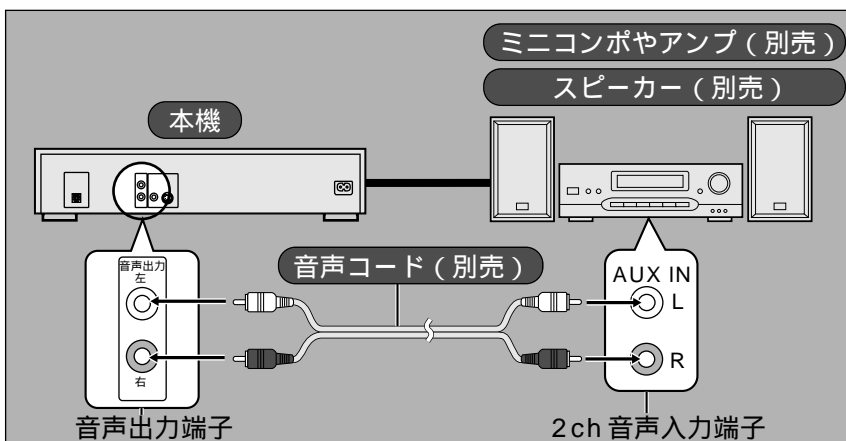
お願い

- アンプとスピーカーの接続については、それぞれの機器の説明書をご参照ください。
- Bまたは Cの接続をした場合、「7　デジタル出力」（☞34ページ）の「1　PCMダウンサンプリング変換」を「しない」に設定すると、LPCM 96 kHzで記録されたDVDを再生したときに、音声が出力されません。ただし著作権の保護がされていないディスクの場合はそのまま出力されます。LPCM 96 kHzで記録されたディスクを再生するときは、Aの接続をし、「1　PCMダウンサンプリング変換」を「しない」に設定してください。

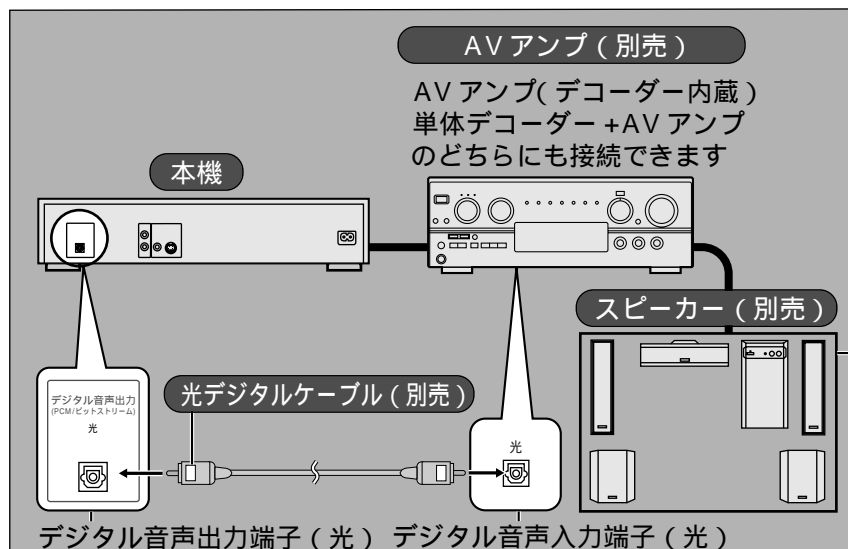
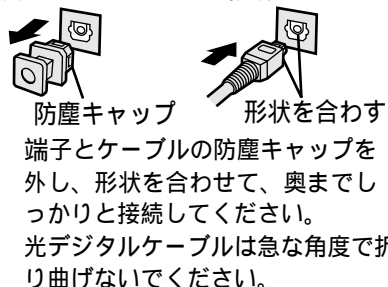
お知らせ

- 別売品については「別売品のご紹介」（☞39ページ）をご参照ください。
- DVDに対応していないDTS Digital Surroundデコーダーは使用できません。
- 2ch、5.1ch以外にも、3～5本のスピーカーを接続することができます。（接続B☞33ページ）

A 音響機器（2ch音声入力端子付）との接続

ミニコンポやアンプなどの2ch音声入力端子に接続して音声を楽しむことができます。

B AV アンプ（デコーダー内蔵）との接続と設定

1 接続

別売の AV アンプ（デコーダー内蔵）または、デコーダー＋ AV アンプ（デコーダーなし）のデジタル音声入力端子に接続し、マルチチャンネルのドルビーデジタルで記録された DVD を再生すると、映画館やホールにいるような臨場感と迫力ある音声をご家庭で楽しめます。

●フロントスピーカー以外のスピーカーは、好みに応じて接続してください。
例）5.1 チャンネル
フロントスピーカー（L／R）**（2 本）**
センタースピーカー**（1 本）**
サラウンドスピーカー（L／R）**（2 本）**
サブウーハー**（1 本）**

光デジタルケーブルを接続するときは

●端子とケーブルの防塵キャップを外し、形状を合わせて、奥までしっかりと接続してください。
●光デジタルケーブルは急な角度で折り曲げないでください。

2 設定

「7 デジタル出力」（☞34 ページ）を、接続した機器側のデコーダーに合わせて、下記のように設定してください。

設定項目＼デコーダー	**Dolby Digital デコーダー**	DTS Digital Surround デコーダー	Dolby Digital／DTS Digital Surround デコーダー
Dolby Digital	「Bitstream」	**「PCM」**	**「Bitstream」**
DTS Digital Surround	**「Off」**	「Bitstream」	**「Bitstream」**

⚠注意

左記のように設定しないと、再生時にデジタル音声出力端子からデコーダーに対応していないビットストリームが出力されます。**（雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。）**

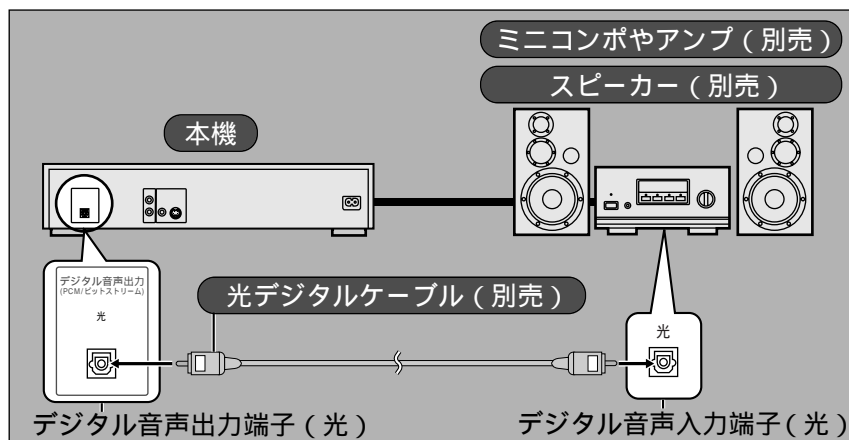
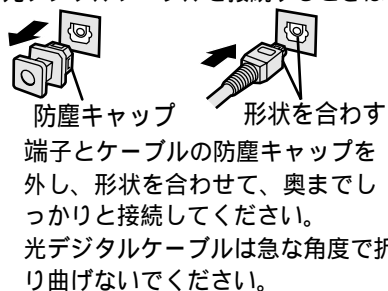
C デジタル音響機器（デコーダーなし）との接続と設定

1 接続

2ch のミニコンポやアンプなどのデジタル音声入力端子に接続してデジタル音声を楽しむことができます。

光デジタルケーブルを接続するときは

●端子とケーブルの防塵キャップを外し、形状を合わせて、奥までしっかりと接続してください。
●光デジタルケーブルは急な角度で折り曲げないでください。

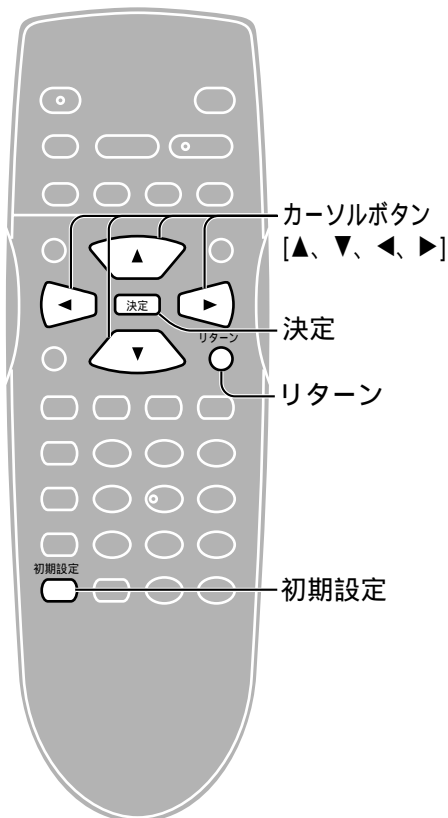
2 設定

「7 デジタル出力」（☞34 ページ）を、下記のように設定してください。
●Dolby Digital⇒「PCM」
●DTS Digital Surround⇒「Off」

左記のように設定しないと、再生時にデジタル音声出力端子からビットストリームが出力されます。（雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。）

デジタル出力の設定

準備

- 本機および接続した機器の電源を入れ、テレビの入力を「ビデオ」などに切り換えてください。

接続した機器に応じて、本機のデジタル音声出力端子から出力されるデジタル信号の種類を選びます。
- **PCMダウンサンプリング変換**
（LPCM 96kHzで記録された音声を48 kHz/16 bitに変換しないかするか選ぶ）
- **Dolby Digital**（Dolby Digital信号をBitstreamかPCMのどちらで出力するか選ぶ）
- **DTS Digital Surround**（DTS信号を出力しないかBitstreamで出力するか選ぶ）

1 停止中、
[初期設定]を押す

2 カーソルボタン[▲、▼]を押して
「7　デジタル出力」を選び、[**決定**]を押す

3 カーソルボタン[▲、▼]を押して
「PCMダウンサンプリング変換」／「Dolby Digital」／「DTS Digital Surround」を選び、[**決定**]を押す

- **PCMダウンサンプリング変換**
（LPCM 96kHzで記録された音声を48 kHz/16 bitに変換しないかするかを選択）
- **Dolby Digital**
（Dolby Digital信号をBitstreamかPCMのどちらで出力するか選択）
- **DTS Digital Surround**
（DTS信号を出力しないかBitstreamで出力するか選択）

4 カーソルボタン[▲、▼]を押して
「PCMダウンサンプリング変換」／「Dolby Digital」／「DTS Digital Surround」のモードを選び、[**決定**]を押す

- 35ページを参考に設定してください。

お願い

- デコーダーを持たない機器に接続する場合、「Dolby Digital」は「PCM」に、「DTS Digital Surround」は「Off」に必ず設定してください。

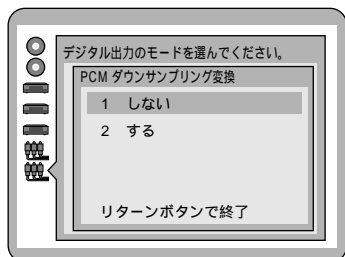
接続した機器に合わせて正しく設定しないと、雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。

5 リモコンの**[リターン]**を数回押して、設定を終了する

■ ひとつ前の画面に戻るには

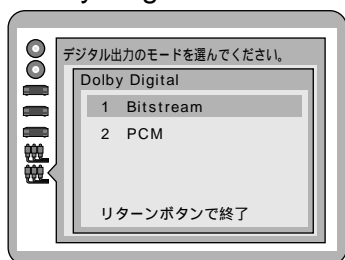
[リターン]を押す

■「デジタル出力」の設定内容

■ PCMダウンサンプリング変換

- **しない**
  [音声出力端子に接続したとき(接続A)]
- **する**
  [デジタル音声出力端子に接続したとき (接続 B)、(接続C)]
  著作権保護のため、LPCM 96 kHzで記録されたDVDは48 kHz／16 bit以下に制限して、出力されます。

お知らせ

- BまたはCの接続をした場合、「しない」に設定すると、LPCM 96 kHzで記録されたDVDを再生したときに、音声が出力されません。ただし著作権の保護がされていないディスクの場合はそのまま出力されます。96 kHzで記録されたDVDを再生するときは、Aの接続をし、「PCMダウンサンプリング変換」を「しない」に設定してください。

■ Dolby Digital

- **Bitstream**
  (Dolby Digitalデコーダーを内蔵する機器と接続するとき)
- **PCM**
  (Dolby Digitalデコーダーを内蔵しない機器と接続するとき)

■ DTS Digital Surround

- **Off**
  (DTS Digital Surroundデコーダーを内蔵しない機器と接続するとき)
- **Bitstream**
  (DTS Digital Surroundデコーダーを内蔵する機器と接続するとき)

■「デジタル出力」の推奨設定について

接続した機器側のデコーダーに合わせて以下のように設定してください。(下線部:出荷時の設定)

デコーダー	「7 デジタル出力」の設定		
	1 PCMダウンサンプリング変換	2 Dolby Digital	3 DTS Digital Surround
デジタル音響機器を接続しない場合(☞32ページ A)	**しない**	**Bitstream**	**Off**
デジタル音響機器(デコーダーなし)(☞33ページ C)	**する**	**PCM**	**Off**
Dolby Digitalデコーダー(☞33ページ B)	**する**	**Bitstream**	**Off**
DTS Digital Surroundデコーダー(☞33ページ B)	**する**	**PCM**	**Bitstream**
Dolby Digital／DTS Digital Surroundデコーダー(☞33ページ B)	**する**	**Bitstream**	**Bitstream**

各部のなまえ

本体

リモコン

電源ボタン(⏻) (☞11、13 ページ)

スキップボタン (|◀◀、▶▶|) (☞13、14 ページ)
スロー／サーチボタン (◀◀、▶▶) (☞14 ページ)

トップメニューボタン (☞13、19 ページ)

カーソルボタン (▲、▼、◀、▶) ／
決定ボタン (☞13 ページ)

画面表示ボタン (☞23 ページ)

再生モードボタン (☞21、22 ページ)
リピートモードボタン (☞20 ページ)
A-B リピートボタン (☞21 ページ)

V.S.S.ボタン (☞18 ページ)

初期設定ボタン (☞11、26、34 ページ)

開／閉ボタン(▲) (☞13 ページ)

停止ボタン (■) (☞13 ページ)
一時停止ボタン (❚❚) (☞14 ページ)
再生ボタン (▶) (☞13 ページ)

メニューボタン (☞13、19 ページ)

リターンボタン
(☞11、13、26、34 ページ)

字幕ボタン (☞16 ページ)
音声ボタン (☞17 ページ)
アングルボタン (☞17 ページ)

数字ボタン (☞13 ページ)

取消しボタン (☞23 ページ)

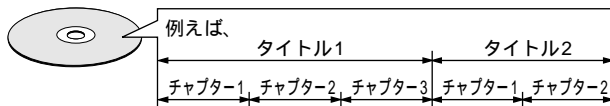
電源⏻ 開/閉 停止 一時停止 再生 スキップ スロー/サーチ トップメニュー メニュー 決定 画面表示 リターン 再生モード 字幕 音声 アングル リピートモード A-B リピート V.S.S. 初期設定 取消し 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ≧10
Panasonic
DVDプレーヤー
VEQ2417

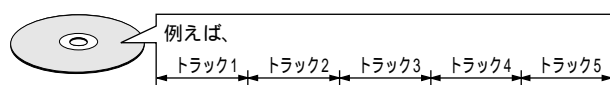
表示窓

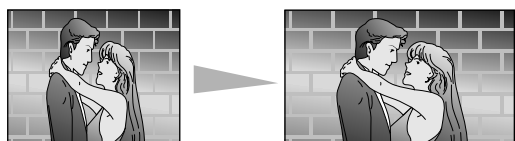
このようなとき	このような表示が出ます
ディスクが入っていないとき	NO DISC
DVD 再生中	DVD ▶ c25 1:23:45（チャプター 25 再生中／タイトルの再生経過時間）
インタラクティブな DVD 再生中	DVD ▶ PLAY
カラオケ DVD 再生中	DVD ▶ T 13 0:17:45（タイトル 13 再生中）
インタラクティブなカラオケ DVD 再生中	DVD ▶ T 13 PLAY
ビデオ CD 再生中	▶ VCD 5 3:45（トラック 5 再生中／トラックの再生経過時間）
プレイバックコントロール付ビデオ CD 再生中	▶ VCD PBC
CD 再生中	▶ CD 5 3:45（トラック 5 再生中／トラックの再生経過時間）
DTS CD を入れたとき	DTS CD（スクロールしたのち総トラック数／総演奏時間を表示）
トラック番号を予約したとき（プログラム再生）	PROG. CD 5 P: 3（トラック 5 を 3 番目に予約したことを示す）
再生できないとき	NO PLAY ●初期設定「視聴制限」で再生を制限されている DVD（☞27 ページ） ●リージョン番号「2」「ALL」以外の DVD ●PAL 方式で記録された DVD ／ビデオ CD

用語解説

タイトル、チャプター（DVD）

DVD は、いくつかの大きな区切り（タイトル）と小さな区切り（チャプター）に分けられており、それぞれの区切りの番号を、タイトル番号、チャプター番号と呼びます。

トラック（ビデオ CD/CD）

ビデオ CD や CD は、いくつかの区切り（トラック）に分けられており、これらの区切りの番号をトラック番号と呼びます。

S1 映像信号

S1 映像出力端子からは、S1 映像信号が出力されます。S1 映像入力端子を持った、画面の横縦比が 16 ： 9 のテレビに接続した場合、4 ： 3 に圧縮して記録されたワイドソフトを自動的に 16 ： 9 のワイドサイズで表示します。

光デジタル音声出力端子

電気信号を光信号に変えてアンプに伝えるので、外部からの電気的な影響による雑音を防ぐことができます。

フレーム／フィールド

フレームとは、テレビの 1 枚の画面のことです。1 フレームはフィールドと呼ばれる 2 枚の画面からなっています。

フレーム　　　フィールド　　　フィールド

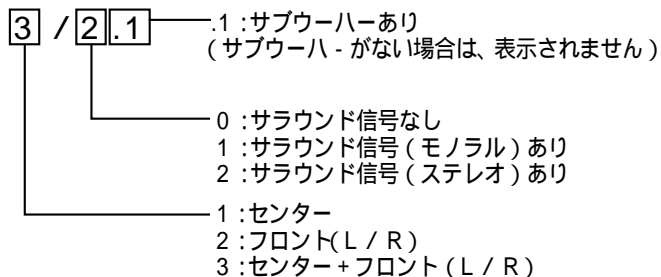
 = +

- フレームスチルのときは、2 枚のフィールドの間でブレを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

チャンネル（ch）

出力される音域や特性によって区別された音声の種類です。
例）5.1 チャンネル
- フロントスピーカー［L **（1ch）**／R **（1ch）**］
- センタースピーカー **（1ch）**
- サラウンドスピーカー［L **（1ch）**／R **（1ch）**］
- サブウーハー［**1ch × 0.1**※ **= 0.1ch**］

※出力される音声全体に対して低音が占める割合

GUI 画面では以下のように示されます。

リニア PCM（LPCM）

圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた信号です。CD では、44.1 kHz／ 16 bit で記録されているのに対し、DVD では 48 kHz／ 16 bit ～ 96 kHz／ 24 bit で記録されていますので、CD よりも高音質での再生が可能です。
本機では、デジタル音声出力端子からのリニア PCM 音声は 2ch で出力されます。

Bitstream（ビットストリーム）

圧縮され、デジタル信号に置き換えられた信号です。デコーダーにより、5.1ch などのマルチチャンネル音声にデコード（復号）されます。

ドルビープロロジック

4 チャンネル信号を 2 チャンネルに記録し、演算処理により、再び 4 チャンネルの独立した信号を再生するサラウンドシステムです。

Dolby Digital（ドルビーデジタル）

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2ch）はもちろん、独立した最大 5.1ch のサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

DTS Digital Surround（ディーティーエス　デジタルサラウンド）

多くの映画館で採用されている最大 5.1ch のサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く情報量も多いので、リアルな音響効果が得られます。

画面に映し出される映像の横縦比

テレビに映し出される映像や画面モードの名称は、ソフトやテレビによって異なります。ソフトのジャケットやテレビの説明書もご参照ください。
※は、ディスクのジャケットに表示されているマークです。

接続するテレビ（画面モード）／ソフトの種類	4：3	16：9（フルモード）	16：9（ズームモード）	16：9（オートモード）
ワイドソフト（パン&スキャン指定）※ 16:9 PS	左右が切れる	フル画面	上下が切れる	フル画面
ワイドソフト（レターボックス指定）※ 16:9 LB	レターボックス（上下に黒帯）			
4：3のソフト ※ 4:3	フル画面	左右方向に引き伸ばされる	上下が切れる	フル画面（左右に黒帯ができる）
4：3のソフト［レターボックス（上下に黒帯）］※ LB	レターボックス	左右方向に引き伸ばされる	フル画面（黒帯がなくなる）	画面両端が左右方向に引き伸ばされる

別売品のご紹介

別売品の品番は、2000年3月現在のものです。品番は変更されることがあります。

コード/ケーブル名	品番
S映像コード	RP-CVS0G10 (1.0 m)
	RP-CVS0G20 (2.0 m)
	RP-CVS0G30 (3.0 m)
	RP-CVS0G50 (5.0 m)
音声コード	RP-CAP3G05 (0.5 m)
	RP-CAP3G10 (1.0 m)
	RP-CAP3G15 (1.5 m)
	RP-CAP3G20 (2.0 m)
	RP-CAP3G30 (3.0 m)
	RP-CAP3G50 (5.0 m)
	RP-CAP3G100 (10.0 m)
光デジタルケーブル	RP-CA2005A (0.5 m)
	RP-CA2010A (1.0 m)
	RP-CA2020A (2.0 m)
	RP-CA2030A (3.0 m)

機器名	品番
AVアンプ（AVコントロールアンプ）※	SA-DX930
フロントスピーカー（L/R、左右一組）	SB-LV500
センタースピーカー	SB-C500
サラウンドスピーカー（L/R、左右一組）	SB-S500
サブウーハー	SB-W500

※5.1ch音声入力端子とDolby Digital／DTS Digital Surroundデコーダーを装備しています。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です

音のエチケットシンボルマーク

故障かな!?

次の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店または「お客様ご相談センター」（☞42 ページ）にお問い合わせください。

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
電源	**電源が入らない。**	電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。	8
	勝手に電源が切れる。	停止状態で約 30 分経過すると、節電のため、電源が自動的にスタンバイ状態になります。**（オートパワーオフ）** 再度電源を入れ直してください。	10
リモコン	**リモコンが働かない。**	乾電池は、⊕⊖を確かめて正しく入れ、消耗している場合は、新しいものに交換してください。	7
		リモコン受信部に向けて正しく操作してください。	7
ディスクの再生	**テレビ画面に⃠（禁止）マークが表示される。**	ディスクによっては、その操作が禁止されている場合があります。	13
	各ボタン操作ができない。	電源ボタンを一度、「切」「入」してください。（落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。）	―
	再生［▶］を押しても、再生が始まらない。 または、すぐに停止する。	寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。1〜2 時間放置してください。	―
		本機で再生できるディスクかどうか確認してください。	6
		ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。	7
		ラベル（両面ディスクの場合は、再生したい側のラベル）を上にして、ディスクを正しくセットしてください。	12
	映像が映らない。 音声が聞こえない。 音声が聞きづらい。	接続を確認し、接続した機器の外部入力を正しく切り換えてください。	8、9、32、33
	テレビ画面に映し出される映像の横縦比がおかしい。（左右が切れる。または上下左右に黒帯が入るなど。）	お手持ちのテレビに合わせて、初期設定「6　接続する TV」の項目を正しく設定してください。また、テレビ側の画面モードを変更してください。	11、39
	DTS の音声が出ない	本機では DTS の音声を出力することができません。DTS デコーダーを内蔵した AV アンプや単体の DTS デコーダーに接続してください。	33
	ビデオ CD のメニュー再生ができない。	プレイバックコントロール機能付ビデオ CD 以外は、メニュー再生できません。	15
視聴制限	**再生［▶］を押しても、以下のメッセージが表示され、再生が始まらない。「再生できません。ディスクを取り出して、視聴制限設定を変えてください。」**	初期設定「2　視聴制限」の設定を変更してください。	27
	視聴制限で設定した暗証番号を忘れた。 初期設定のすべての項目を、工場出荷時設定に戻したい。	以下の操作で初期設定の内容を工場出荷時に戻してください。 **1** 停止中、本体の**[❚❚]**と**[⏮/◀◀]**を押しながら **2** 本体の**[⏏]**を 3 秒以上押す （テレビ画面の「オールクリア」が消えたことを確認してください。） **3** テレビの電源を**「切／入」**する	27

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
字幕／音声／アングル	**字幕／音声言語が切り換えられない。**	複数の言語が入っていないディスクは切り換えできません。	16
		字幕／音声切り換え操作では切り換えできないディスクでも、メニュー画面等で切り換えできる場合があります。	16、17
	字幕が出ない。	字幕の入っていない DVD は字幕が表示されません。	16
		字幕が「切」になっている場合は、字幕を「入」にしてください。	16
	アングルを変えて見ることができない。	複数のアングルが記録されていない DVD はアングルを切り換えることができません。また、複数のアングルは特定の場面（再生中なら表示窓に「ANGLE」が点灯）のみ記録されているものがあります。	17
V.S.S.	**V.S.S.2 が働いているとき、音がひずむ**	ディスクによって音声がひずむことがあります。その場合は V.S.S.を「OFF」（解除）にしてください。	18
カラオケ	**ボーカルが「切」にならない。**	ボーカルが記録されている音声チャンネルが選ばれています。ディスクのジャケットを確認して、適切な音声チャンネルを選んでください。	17
	DVD のカラオケソフト再生中にボーカルが出ない。	機器を本機のデジタル音声出力端子に接続している場合は、初期設定「7　デジタル出力」で、「2 Dolby Digital」を「PCM」に設定してください。	17、32-35
	カラオケソフトを再生したら、1 曲ずつメニュー画面に戻る。	カラオケソフトのほとんどは、選んだ曲が終わるとメニュー画面に戻るように制作されています。メニュー画面に「全曲再生」という項目がある場合、その項目を選ぶと、全曲が再生されます。	17
ホームシアター	**特定のスピーカーから音が出ない。または、耳を刺激するような音が出る。**	接続を確認してください。	32、33
		機器を本機のデジタル音声出力端子に接続している場合は、初期設定「7　デジタル出力」で、接続した機器に応じて「2 Dolby Digital」または「3 DTS Digital Surround」を正しく設定してください。	34、35
表示について	**表示窓に「NO PLAY」と表示する。**	再生できないディスクが入っています。	6
	画面メッセージが出ない。	初期設定「4　オンスクリーン」の「1 画面メッセージ」を「入」にしてください。	28
	GUI 画面が欠ける（または表示されない）。	初期設定「4 オンスクリーン」の「2 色と位置」で GUI 画面の位置を変更してください。	28
	画面に「ディスクを確認してください」と表示する。	ディスクがよごれています。 （処置をしても、表示が消えないときは、修理をご依頼ください。）	7
	表示窓にサービス番号「H □□」が表示される。（□□は数字）	異常が発生しました。（「H」以降の数字は、本機の状態によって変わります。）電源を一度、「切」「入」してください。 （処置をしても、表示が消えないときは、修理をご依頼ください。）	ー

■処置をされても「サービス番号」を表示するときは

お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」（☞43 ページ）に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときは

表示窓のサービス番号をお知らせください。
（例）**「H 0 1」**と表示しているときは、**「サービス番号、H 01」**とお知らせください！

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■修理を依頼されるとき

40～41ページの「故障かな!?」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、DVD/ビデオCD/CDプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

使いかた・お買い物のご相談は

フリーダイヤル（料金無料） 0120-878-365（パナは 365日）

365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

ナショナル／パナソニック
修　理　ご　相　談　窓　口

修理のご相談は

ナビダイヤル（全国共通番号）　☎ 0570-087-087（パナ 087-パナ 087）

- ●お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- ●携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
  （ナビダイヤルはご利用頂けません）

北　海　道　地　区

地区	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎ (011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎ (0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎ (0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎ (0138)48-6631

東　北　地　区

地区	所在地	電話
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎ (0177)39-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎ (018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎ (019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎ (022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎ (023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎ (0243)34-1301

首　都　圏　地　区

地区	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎ (028)689-2555
群馬	高崎市萩原町沖中205-18	☎ (027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎ (029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎ (0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎ (048)729-2102
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎ (03)5450-7431
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎ (0552)22-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎ (045)840-3155
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎ (025)286-7725

中　部　地　区

地区	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎ (076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎ (076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎ (0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎ (0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎ (054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎ (0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎ (058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎ (0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎ (059)255-1380

近　畿　地　区

地区	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎ (077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎ (075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎ (06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎ (0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎ (0734)75-1311
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎ (078)272-6645

中　国　地　区

地区	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎ (0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎ (0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎ (0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎ (0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎ (0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎ (086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎ (082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎ (0839)86-4050

四　国　地　区

地区	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎ (087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎ (088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎ (088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎ (089)971-2144

九　州　地　区

地区	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎ (092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎ (0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎ (095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎ (097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎ (0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎ (096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎ (0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎ (099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎ (0997)53-5101

沖　縄　地　区

地区	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0100

主な仕様

電源	AC 100 V 50／60 Hz
消費電力	10 W（電源「スタンバイ」時 約1.5 W）
信号形式	NTSC
質量	約2.9 kg
外形寸法	430（幅）×269（奥行）×82（高さ）mm、突起物を含まず
許容周囲温度	+5～35℃
許容相対湿度	5～90％RH（結露なきこと）
対応ディスク	（1）DVD－Videoディスク 12 cm片面1層 12 cm片面2層 12 cm両面（各面1層） 8 cm片面1層 8 cm片面2層 8 cm両面（各面1層） （2）コンパクトディスク （CD－DA、Video CD） 12 cmディスク 8 cmディスク
S映像出力	Y出力レベル ：1 Vp-p（75 Ω） C出力レベル ：0.286 Vp-p（75 Ω） 出力端子 ：S端子 端子数 ：1系統
映像出力	出力レベル ：1 Vp-p（75 Ω） 出力端子 ：ピンジャック 端子数 ：1系統
音声出力	出力レベル ：2 Vrms（1 kHz、0 dB） 出力端子 ：ピンジャック 端子数： 5.1chミックス出力（2ch） ：1系統
音声出力特性	（1）周波数特性 ● DVD（リニア音声） 4 Hz～22 kHz（48 kHzサンプリング） 4 Hz～44 kHz（96 kHzサンプリング） ● CD 4 Hz～20 kHz（EIAJ） （2）S／N比 ● CD 115 dB（EIAJ） （3）ダイナミックレンジ ● DVD（リニア音声） 102 dB ● CD 98 dB（EIAJ） （4）全高調波歪率 ● CD 0.0025 ％（EIAJ）
デジタル音声出力	出力端子： 光デジタル出力 ：光コネクター

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

- 本製品のデザイン、仕様は改善等のため予告なしに変更することがあります。
- 本書は改善のため予告なしに変更することがあります。

本機は日本国内専用です。
海外では、放送方法、電源電圧が異なるため使用できません。

愛情点検 **長年ご使用のDVD/ビデオCD/CDプレーヤーの点検を！**

こんな症状はありませんか

- 再生しても映像や音声が出ない
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 水や異物が入った
- ディスクが傷ついたり、取り出しができない
- 本体やテレビ画面の表示が出ない
- その他の異常や故障がある

以上のような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ずお買い上げの販売店に点検をご相談ください。

- 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年 月 日	**品 番**	DVD-RV20
販 売 店 名	☎（ ） －	**お 客 様 ご 相 談 窓 口**	☎（ ） －

松下電器産業株式会社 デジタルAVネットワーク事業部
〒571－8505 大阪府門真市松生町1番4号

F0300MH1050 VQT8758